291
72

三重高等農林學校一覽 自昭和八年至同九年

0052280007

0052280-007

291-72

三重高等農林学校一覧

三重高等農林学校・編

三重高等農林学校

昭和２－１０年度

昭和３－１０

AHN

291-7

三重高等農林學校一覽

自昭和八年
至昭和九年

校舍全景

實驗農場

三重高等農林學校一覽

自昭和八年
至昭和九年

發行所寄贈本

目次

第一沿革

第二法令

一、文部省直轄諸學校官制（抄）　一
二、文部省直轄諸學校職員定員令（抄）　三
三、實業學校令（抄）　三
四、專門學校令（抄）　三
五、實業學校卒業者ノ專門學校入學ニ關スル件　三
六、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定（抄）　四
七、實業學校教員養成規程　五
八、文部省直轄實業專門學校委託生規程　六

目次

九、文部省直轄學校外國人特別入學規程（抄）　一六
十、臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件　一九
十一、三重高等農林學校規程　一九
十二、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件　二〇

第三　學年暦　二三

第四　規則

三重高等農林學校規則　二三

第五　細則

一、事務規程　三三
二、物品會計細則　三五
三、圖書館規程　三五
四、農場規程　三五

五、總代規程　三六
六、學生制服規程　三九
七、寄宿舍規程　四一
八、寄宿料規程　四一
九、授業料徵收規程　四一
十、校旗規程　四二
十一、通學生規程　四二
十二、非常警備及手配規程　四三
十三、外國人特別入學細則　四四

第六　職員　四八

第七　學生

一、學生氏名　五一
二、學生數　五一

目次

目次

三、地方別學生數
第八　卒業生
一、卒業生氏名及業務
二、卒業生年度別數
三、卒業後ノ狀況
四、卒業生地方分布ノ狀況
第九　敷地建物
附錄
三重高等農林學校校友會規則
三重高等農林學校校友會基本金規則
三重高農同窓會會則
建物配置圖

291-72

第一　沿革

大正八年政府ハ高等教育機關創設及擴張ノ計畫ヲ樹テ第四十一帝國議會ノ協賛ヲ經其ノ一トシテ高等農林學校ヲ三重縣下ニ設置スルニ決シ八年九月位置ヲ津市上濱町ニ定ム次テ敷地ノ買收竝地上工事ニ着手シ十年三月其ノ工ヲ終フ之ヨリ先三重縣ハ本校設置ノ議アルヲ聞クヤ大正八年七月臨時縣會ヲ開キ創立費ニ對シ四拾四萬五千圓ヲ政府ニ寄附スルコトヲ議決シ九年三月其ノ手續ヲ了ス大正十年八月本館其ノ他附屬校舍ノ新築工事ニ着手ス爾來沿革ノ大要ヲ擧クレハ左ノ如シ

大正十年

十二月十日　勅令第四百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ヲ加ヘ本校ノ設置ヲ公布セラル

同月同日　勅令第四百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正ヲ加ヘ本校ノ職員定員ヲ校長一人、教授五人、助教授二人、書記四人ト定メラル

同月同日　文部事務官兼東京高等師範學校教授上原種美本校々長兼文部事務官ニ任

セラル

十二月廿二日　文部省告示第五百七號ヲ以テ本校ノ位置ヲ三重縣津市上濱町ニ定メ
大正十一年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セラル

同月同日　文部省告示第五百十二號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ文部省修文館ニ於テ事務ヲ開始ス

同月廿五日　雨天體操場及本館附屬建物新築竣工ス

大正十一年

一月十二日　文部省令第一號ヲ以テ本校規程ヲ公布セラル

同月十六日　本校規則ヲ制定ス

同月十七日　文部省告示第十一號ヲ以テ實業學校卒業者(但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校卒業者ニシテ志望學科ト同種類ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル)ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラル

三月一日　校章ヲ制定ス

三月十四日　文部省告示第百六十三號ヲ以テ本校ノ事務ハ三月十六日ヨリ三重縣津市上濱町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ雨天體操場ヲ以テ臨時事務所ニ充ツ

四月一日　大正十一年度入學志願者三百二十名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月五日　本館新築工事完成シ雨天體操場ヨリ事務所ヲ移轉ス

同月八日　寄宿舍並ニ其ノ附屬建物新築竣工ス

同月十二日　校長上原種美兼文部事務官ヲ免セラレ學校長專任トナル

同月二十日　事務規程ヲ制定ス

同月廿二日　第一回入學式ヲ擧行ス

同月廿五日　始業式ヲ擧行ス

同月廿六日　授業ヲ開始ス

同月廿九日　勅令第二百四十二號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ九人ニ、助教授二

人ヲ七人ニ改正セラル

五月十日　本校實驗農場初耕式ヲ擧行ス

七月二日　鎌田文部大臣來校視察セラル

同月廿七日　學級總代規程ヲ制定ス

九月二日　授業料徴收規程ヲ制定ス

同月十一日　學生制服規程ヲ制定ス

同月十三日　寄宿舍規程ヲ制定ス

同　日　寄宿料規程ヲ制定ス

同月十四日　通學生規程ヲ制定ス

十月三日　教育ニ關スル勅語謄本及戊申詔書謄本ヲ下賜セラル

十一月四日　皇后陛下宇治山田市ヘ　行啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉迎ス

同月七日　皇后陛下宇治山田市ヨリ　還啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉送ス

十二月廿八日　養蠶室及農場建物新築竣工ス

大正十二年

一月卅一日　非常警備及手配規程ヲ制定ス

二月廿八日　實驗室新築竣工ス

三月廿八日　運動場工事竣工ス

同月三十日　大正十二年度入學志願者四百六十六名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

四月十二日　第二回入學式ヲ擧行ス

同月廿一日　物品會計細則ヲ制定ス

五月八日　勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中教授九人ヲ十五人ニ、助教授七人ヲ十人ニ、書記四人ヲ五人ニ改正セラル

大正十三年

一月廿六日　皇太子殿下　御成婚ノ禮ヲ行ハセラルヽニ付奉祝式ヲ擧行ス

二月廿三日　皇太子殿下竝ニ同妃殿下　神宮御參拜ノ爲　御來縣ニ付職員學生一同津驛ニ奉迎ス

同月廿四日　皇太子殿下竝ニ同妃殿下　御來縣ニ付上原校長御機嫌ヲ奉伺ス

二月廿五日　皇太子殿下竝ニ同妃殿下　還啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉送ス
三月三十日　講堂、畜舍其ノ他五棟新築竣工ス
四月一日　大正十三年度入學志願者二百八十三名中ヨリ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス
同月十五日　第三回入學式ヲ擧行ス
五月十六日　勅令第百三十三號ヲ以テ本校職員定員中教授十五人ヲ十八人ニ、助教授十人ヲ十二人ニ、書記五人ヲ六人ニ改正セラル
六月二十日　圖書館、書庫、武道場、農業機械室其ノ他五棟新築竣工ス
八月十五日　酪農室、燻蒸室外二棟新築竣工ス
同月十九日　實驗農場ハ從來灌漑、排水ノ便ヲ缺キ加フルニ鹽害亦尠カラサリシヲ以テ耕地ノ根本的整理改良ヲ企テ本年三月二十三日其ノ工事ニ着手灌漑、排水、電動裝置外十六點ノ施設ヲ竣成ス
十月十日　校歌ヲ作定ス
同月廿六日　中橋前文部大臣來校視察セラル

十一月一日　本校開校式ヲ擧行ス岡田文部大臣、柴垣文部省建築課長、荒木京都帝國大學總長、山岡三重縣知事、三條西神宮大宮司其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ爾來此日ヲ以テ本校記念日ト定ム
同月二日　第一回陸上運動會ヲ擧行ス
同月十一日　乾繭室、羊舍、鷄舍、豚舍外二棟新築竣工ス
同月三十日　高橋農商務大臣來校視察セラル
十二月四日　本校規則中入學ニ關スル項ヲ改正ス
同月六日　特別研究室新築竣工ス
同月十七日　圖書館規程ヲ制定ス
同月二十日　官舍四棟及附屬建物新築竣工ス
同月三十日　種貯藏庫、作物栽培實驗室、簡易堆肥及水肥舍新築竣工ス

大正十四年

一月廿二日　文部省告示第十二號ヲ以テ本校卒業者ハ農學科ニ在リテハ農業、動物又ハ植物、農業土木學科ニ在リテハ數學ニ關シ中等學校教員無試驗檢定ヲ受クルコト

ヲ得ルモノト指定セラル

二月十五日　本校所屬演習林トシテ三重縣一志郡八幡村所在平倉國有林四百五十七町八反六畝八歩ヲ農商務省ヨリ讓リ受ク

同月十八日　農產製造室、林產製造室、飼料室新築竣工ス

同月廿七日　本校内ニ三重縣立實業教員養成所ヲ設置ス

三月十四日　温室新築竣工ス

同月十七日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十八名、農業土木學科二十八名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿三日　本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス

同月卅一日　本校正門前ノ土地八百十二坪ヲ購入シ見本植物園ヲ設置ス

四月一日　大正十四年度入學志願者三百六十一名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月同日　勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授十二人ヲ十一人ニ改正セラル

同月十五日　第四回入學式ヲ擧行ス

五月十日　天皇　皇后兩陛下　御結婚滿二十五年御祝典ヲ執リ行ハセラルヽニ付奉祝式ヲ擧行ス

同月廿七日　文部省令第二十七號ヲ以テ本校規程中各學科ノ學科目及其ノ程度ニ改正ヲ加ヘラル

同月同日　本校規則中同上

大正十五年

三月十七日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十四名、農業土木學科二十五名及林學科三十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科二名、農業土木學科選科一名及林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　大正十五年度入學志願者四百四十五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第五回入學式ヲ擧行ス

五月十五日　農業土木學科二名及林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

六月廿五日　農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
七月三日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
八月一日　本日ヨリ十九日マテ文部省成人教育講座ヲ本校ニ開催ス
十一月十一日　本日ヨリ三日間ニ亘リ文部省社會教育課ニ於テ本校實驗農場其ノ他ノ諸施設ヲ撮影シ活動映畫ヲ作ル
十二月四日　聖上陛下御惱御平癒祈願式ヲ擧行シ式後上原校長竝ニ職員學生各代表者　伊勢神宮ニ參拜御平癒祈願ヲ爲ス

昭和元年

十二月廿五日　天皇陛下　崩御アラセラレタルニ付奉悼式ヲ擧行ス

昭和二年

二月三日　演習林寄宿舍新築竣工ス
同月七日　大正天皇御大喪儀ニ付遙拜式ヲ擧行ス上原校長ハ上京鹵簿内奉送ヲ爲シ職員竝ニ學生各總代ハ鹵簿ヲ奉送ス
同月十四日　今上天皇陛下朝見ノ儀ニ於テ賜ハリタル勅語ノ奉讀式ヲ擧行ス

三月十七日　第三回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十七名、農業土木學科三十一名及林學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス
同月廿二日　本校實驗農場續キノ土地千百六十坪餘ヲ買收シテ花卉園ヲ擴張ス
同月廿一日　固定温床新築竣工ス
同月同日　外國人特別入學細則ヲ制定ス
四月一日　昭和二年度入學志願者五百十二名中ヨリ農學科四十六名、農業土木學科四十二名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス
同月十三日　農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス
同月十五日　第六回入學式ヲ擧行ス
同月廿八日　農業土木學科四名及林學科三名ニ卒業證書ヲ授與ス
五月十二日　三土文部大臣來校視察セラル
同月十六日　農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月卅一日　農學科一名及農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
八月一日　本日ヨリ十八日マテ文部省成人教育講座ヲ開催ス

九月十二日　水野文部大臣來校視察セラル
十一月十四日　上原校長歐米各國ヘ出張ヲ命セラル
十二月廿七日　勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正本校職員定員中ニ助手二人ヲ加ヘラル

昭和三年

一月十六日　校長上原種美歐米各國ヘ出張不在中教授增淵次助校長代理ヲ命セラル
同月十八日　上原校長歐米視察ニ出發ス
三月十七日　第四回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十六名、農業土木學科三十名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月二十日　藥品庫增築竣工ス
同月廿八日　有毒瓦斯處理室新築竣工ス
四月一日　昭和三年度入學志願者六百四十四名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十一名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス
同月九日　本校規則第一條ヲ改正ス

四月十五日　第七回入學式ヲ擧行ス
五月十一日　農學科一名、農業土木學科二名及林學科二名ニ卒業證書ヲ授與ス
八月一日　本日ヨリ十八日マテ文部省成人教育講座ヲ開催ス
十月廿九日　勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正「生徒監ヲ」「生徒主事」ニ改メ「生徒主事補」ヲ加ヘラル
十一月十日　御即位禮奉祝式ヲ擧行ス
同月同日　御大禮記念御眞影奉安殿地鎭祭ヲ擧行ス
同月十五日　神宮御親謁ノ爲　天皇　皇后兩陛下　行幸啓ニ付本校生產ノ果實ヲ獻上ス
同月十九日　天皇　皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎ス
同月二十日　天皇　皇后兩陛下　神宮御親謁ノ際職員學生一同鹵簿ヲ奉拜ス
十一月廿二日　天皇　皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉送ス
十二月十二日　上原校長歐米ノ視察ヲ了ヘ歸朝ス
同月十三日　上原校長歸朝ニ付增淵教授校長代理ヲ免セラル

昭和四年

三月十六日　第五回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十二名、農業土木學科三十名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿八日　本校規則中授業料ニ關スル規程ヲ改正ス

四月一日　昭和四年度入學志願者六百八十六名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十二名及林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス

同月十日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月十五日　第八回入學式ヲ擧行ス

五月九日　昨秋　聖上陛下　神宮御親謁ノ爲　行幸ノ砌特別ノ　御思召アラセラレタルニ依リ本校栽植ノ伊勢菊苗六十種中ヨリ四十種ヲ選ヒ獻上ス

同月十日　校旗規程ヲ制定ス

同月十七日　校旗上成式ヲ擧行ス

六月五日　天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生々徒等　御親閲ニ付本校學生百二十名教官引率シ分列部隊ニ參加　御親閲ノ光榮ニ浴シ上原校長御親閲場ニ參列シ分列式ヲ陪觀ス

十月二日　神宮式年御遷宮執リ行ハセラルヽニ付奉拜式ヲ擧行ス

上原校長　皇大神宮御遷宮式ニ參列又學生代表八十名職員引率シ神域内ニ於テ之ヲ奉拜ス

同月五日　豐受大神宮御遷宮式執リ行ハセラルヽニ付學生代表九十名職員引率シ神域内ニ於テ之ヲ奉拜ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月十四日　農業工學實驗室新築竣工ス

十二月五日　熊澤一衛氏寄附ニ係ル御大禮記念御眞影奉安殿新築竣工ス

昭和五年

一月十五日　本日ヨリ二十日マテ文部省成人教育講座ヲ開催ス

二月七日　高松宮殿下御結婚奉告ノ爲御參宮ニ付上原校長及職員津驛ニ奉迎送ヲ爲ス

三月十六日　第六回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十八名、農業土木學科三十三名

及林學科三十六名ニ卒業證書ヲ、林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　昭和五年度入學志願者九百三十三名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十一名ノ入學ヲ許可ス

同月十日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月十五日　第九回入學式ヲ擧行ス

同月廿一日　本校々友會寄附ニ係ル弓道場竣工ス

五月十七日　農學科一名、農業土木學科二名及林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

八月一日　本日ヨリ六日間文部省成人教育講座ヲ開催ス

十月十日　本日及十一日關西農業學校長會議ヲ開催ス

同月十四日　天皇陛下　皇后陛下ノ　御眞影ヲ下賜セラル

同月十五日　御眞影拜戴式ヲ擧行ス

同月三十日　教育ニ關スル勅語渙發滿四十年記念式ヲ擧行ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月十五日　本校演習林内ニ平倉神社ヲ建設シ鎭座祭ヲ擧行ス

昭和六年

二月五日　曩ニ御下賜ノ　天皇陛下　皇后陛下　御眞影ヲ奉還シ新ニ　天皇陛下　皇后陛下御眞影ヲ拜戴ス

三月十五日　第七回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十九名、農業土木學科三十五名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ、外國人特別生一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月三十日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月卅一日　熱帶植物温室竣工ス

四月一日　昭和六年度入學志願者七百九十八名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十五名及林學科四十四名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第十回入學式ヲ擧行ス

同月廿五日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

六月廿六日　農場規程ヲ制定ス

七月十五日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

七月十七日　關西病蟲害研究會ヲ開催ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

昭和七年

一月三十日　土壤作業室新築竣工ス

二月廿九日　校旗規程中旗手任命ニ關スル規定ヲ改正ス

三月十五日　第八回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十九名、農業土木學科三十七名及林學科三十五名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿八日　更衣室新築竣工ス

四月一日　昭和七年度入學志願者千六百十六名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十三名ノ入學ヲ許可ス

同月一日　學生制服規程中作業服ノ制式ヲ改正ス

同月十五日　農業土木學科一名、林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月十五日　第十一回入學式ヲ擧行ス

同月廿六日　三重高農拓殖研究會ヲ設立ス

五月五日　農業土木學科二名ニ卒業證書ヲ授與ス

五月十八日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月廿一日　滿洲國語及滿蒙事情ニ關スル講座ヲ新設シ本校學生ノ外之ヲ一般ニ公開ス

六月一日　本校規則中授業料減免ニ關スル規定ヲ改正ス

九月十五日　學生健康相談所ヲ新設ス

同月三十日　銃器室及物置ノ新築、武道場ノ增築竣工ス

十月九日　本校々友會寄附ニ係ル記念「プール」竣工ス

十一月一日　本校開校十周年記念式ヲ擧行ス文部大臣代理菊池實業學務局長、農林大臣代理大島農林技師、京都及北海道兩帝國大學總長代理、官公私立高等專門學校長三十名、廣瀨三重縣知事、其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ

右記念式ニ引續キ十年勤續職員表彰式記念「プール」寄贈式、記念同窓會館寄贈式ヲ擧行ス

同月二日　記念祝典行事トシテ農業、林業及農業土木、農業機械、滿蒙產業、校勢、實業補習教育ニ關スル各展覽會、活動寫眞、音樂會、本校生產品即賣、角力大會等ヲ開催校内ヲ一般公開シ又夜間記念講演會ヲ開ク

十一月三日　前日同樣各種祝典行事ヲ催シ校内ヲ一般公開シ又柔道、劍道、庭球、弓道、ラグビー」ノ大會ヲ開ク

同月四日　校内公開ヲ特ニ一日延期シ前日同樣各種展覽會ヲ開キ一般ノ參觀ニ供ス

同月五日　記念祝典ノ一行事トシテ上原校長、職員總代、各學科各學年總代及卒業生總代同伴　伊勢神宮へ參拜、奉告並祈願ヲ爲ス

同月十六日　天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生々徒等　御親閲ニ付本校學生六十三名教官引率分列部隊ニ參加　御親閲ノ光榮ニ浴ス

十二月廿七日　勅令第三百九十五號ヲ以テ本校職員定員中助教授十一人ヲ十人ニ助手二人ヲ一人ニ改メラル

昭和八年

一月十四日　本日ヨリ四日間文部省公民教育講座ヲ開催ス

三月十五日　第九回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十五名、農業土木學科三十九名及林學科二十八名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科二名ニ修了證書ヲ授與ス

同月三十日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

四月一日　昭和八年度入學志願者一千七名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十三名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第十二回入學式ヲ擧行ス

同月廿八日　文部省告示第二百三號ヲ以テ本校内ニ第二拓殖訓練所ヲ開設セラレ上原校長所長ノ事務ヲ執ル

同月三十日　農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

六月一日　拓殖訓練所入所志願者百十七名中ヨリ三十九名ヲ選抜シ入所ヲ許可ス

同月十一日　拓殖訓練所ノ授業ヲ開始ス

同月十八日　拓殖訓練所開所式ヲ擧行ス

七月十四日　本校學生九名馬岡助教授竝ニ塚本配屬將校ニ引率セラレ滿洲産業建設學徒研究團ニ參加渡滿シ約一箇月ニ亘リ視察研究ヲ爲シ歸校ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月十日　國民精神作興ニ關スル詔書渙發十周年記念式ヲ擧行ス

十二月廿三日　皇太子殿下御降誕ニ付奉祝式ヲ擧行ス

昭和九年

二月十一日　皇太子殿下御降誕ヲ記念スル爲職員學生一同植樹ヲ爲ス

第二　法令

一、文部省直轄諸學校官制（抄）

（明治二十六年八月勅令第八十六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京女子高等師範學校　奈良女子高等師範學校　盛岡高等農林學校　鹿兒島高等農林學校
上田蠶絲專門學校　東京高等蠶絲學校　京都高等蠶絲學校　鳥取高等農業學校
三重高等農林學校　宇都宮高等農林學校　岐阜高等農林學校　宮崎高等農林學校
千葉高等園藝學校

（以下省略）

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　教授　生徒主事　助教授　書記　生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校職員定員令（抄）

（大正十年十二月勅令第四百五十七號）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

三重高等農林學校

校長一人　教授十八人　助教授十人　助手一人　書記六人

三、實業學校令（抄）

（大正九年十二月勅令第五百六十四號改正）

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

四、專門學校令（抄）

（明治三十六年三月勅令第六十一號）

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス
專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得
前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得
第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條　第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

五、實業學校卒業者ノ專門學校入學ニ關スル件（大正十三年三月十二日文部省告示第百九號）

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、男子實業學校卒業者
但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

六、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定（抄）（大正八年七月八日文部省告示第百九十二號）

明治四十年文部省令第二十八號公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ
官立公立實業專門學校本科卒業者

七、實業學校教員養成規程

（大正四年三月文部省令第七號）

第一條　東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京工業大學附屬工業教員養成所及大阪工業大學附屬工業教員養成所、名古屋高等工業學校附設工業教員養成所及橫濱高等工業學校附設工業教

員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徴收セス

前項養成所ノ生徒ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條　前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

一、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一

二、養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間

三、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條　前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條　第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條　第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ

二、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ

三、第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第六條　地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其ノ義務期間内ニ轉任、退職若ハ休職ヲ命シ又ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ

文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニシテ其ノ義務期間内ニ陸海軍現役ニ服シ若ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタル者アリタルトキ又ハ休職期間滿了ノ爲退職トナリタル者アルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ

第七條　各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　大學及專門學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條　前條ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

八、文部省直轄實業專門學校委託生規程（明治四十年七月文部省令第二十三號）

第一條　北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得

第二條　公共團體又ハ私人ノ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得

第三條　公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月拾圓以上トス

第四條　委託生ニハ授業料ヲ徵收セス

第五條　委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

第六條　委託生ニシテ在學中中途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

一、前條ノ義務ヲ盡ササルトキ

二、懲戒免職ニ處セラレタルトキ

三、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第七條　學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

九、文部省直轄學校外國人特別入學規程（抄）（明治三十四年十一月十一日文部省令第十五號）

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

十、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件（明治四十四年四月文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

十一、三重高等農林學校規程（大正十一年一月十二日文部省令第一號）

第一條　三重高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條　三重高等農林學校ノ學科ハ農學科、農業土木學科及林學科トス

第三條　三重高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ每週教授時

法令

數ヲ增減シ又休業期間ニ於テ實習實驗ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

（學科課程省略）

第四條　本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得

第五條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

十二、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件（大正十四年一月二十二日文部省告示第十二號）

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目中左ノ通改正ス

鳥取高等農業學校ノ次ニ左ノ如ク加フ

三重高等農林學校

農業

農學科　動物（特別講義及實驗ニ於テ動物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル）

植物（特別講義及實驗ニ於テ植物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル）

農業土木學科　數學（當該科目成績優等ナル者ニ限ル）

第三　學年曆

四月一日　學年始、第一學期始

同月三日　神武天皇祭

同月五日　春季休業終

同月六日　第一學期授業始

同月廿九日　天長節

七月二十日　第一學期授業終

同月廿一日　夏季休業始

八月卅一日　第一學期終

九月一日　第二學期始

同月十日　夏季休業終

同月十一日　第二學期授業始

秋分日　秋季皇靈祭

十月十七日　神嘗祭

學年曆

十一月一日　本校記念日
同月三日　明治節
同月廿三日　新嘗祭
十二月廿四日　第二學期授業終
同月廿五日　大正天皇祭、冬季休業始
同月卅一日　第二學期終
一月一日　四方拜、第三學期始
同月十日　冬季休業終
同月十一日　第三學期授業始
二月十一日　紀元節
春分日　春季皇靈祭
三月廿四日　第三學期授業終
同月廿五日　春季休業始
同月卅一日　第三學期終、學年終

第四規則

三重高等農林學校規則（大正十一年一月十六日制定）

第一章　總則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林及農業土木ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授シ併セテ人格ヲ陶冶シ國體觀念ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條　本校ニ農學科、農業土木學科及林學科ヲ置ク

第三條　各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條　本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ
研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章　學科目及其ノ程度

第五條　各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ毎週教授時數ヲ增減スルコトアルヘシ

農學科

學科目	每週教授時數 第一學年 第一學期	第二學期	第三學期	第二學年 第一學期	第二學期	第三學期	第三學年 第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	三	三	三	二	二	二
物理學及氣象學	二	二	二	(三)三					
化學及分析	三	三	三		(三)一				
動物學及昆蟲學	三	三(二)	二(二)	二	二	三			
植物學及植物病理學	(二)四	四	(二)四	(二)一	(二)二				
鑛物學及地質學	三	二	二						
作物學及育種學	二	二	二	二	二	二	二	二	
養蠶學	二	二	二	二	一				
園藝學			二	二	二	二	二	二	
畜產學				二	二	二	二	二	二
實驗遺傳學					二	二			
土壤學及肥料學		二	二	二	二				
農具論	二	一							
農業工學						二	二	二	二
農產製造學						二	二	二	三
農業經營學				三	三	三			
農政學							二	二	二
經濟學				二	二	二			
法學通論							二	二	二
植物榮養論							(二)	(二)	
家畜榮養論								(二)	(二)
應用菌學							(三)		
林學大意							(二)	(二)	(三)

獸醫學大意	行政法大意	財政學	植民政策	教育學	獨逸語	特別講義及實驗	合計	農學實驗及實習(回數)	農場實習(回數)
							二八(二)(不定時)		四
							二八(二)		四
							二八(四)		四
							二七(五)(不定時)	一	三
							二七(五)(不定時)	二	三
							二六(三)	四	三
(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(三)	一九(七)(二〇)	三	二
(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(一)	(三)	一九(七)(一八)	三	二
(二)						(三)	一六(二)(二〇)	三	二

農業土木學科

每週教授時數

學年 / 學科目	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	四	三	三	二	二	二
數學	六	六	六	三	三	三	二	二	二
物理學及氣象學	四	四	四						
植物學及植物生理學	三	三	二						
鑛物學及地質學	三	二	二						
化學	二	二							
幾何畫	二	二							
應用力學		二	二	三	三	三			
應用水理學				二	二	二			
測量學	四		四	二					

材料及施工法	道路及橋梁	農業水利學	耕地整理論	農業機械學	原動機及揚水機	作物學	園藝學	土壤學及肥料學	農業經營學	農政學	農業土木法規	經濟學	法學通論	設計及製圖
								二						
六								二						
八								二						
一二						一	二	二						
一二	二	二		二	二		二							
一二	二	二		一	二		二							
一五	二	二	三	一	一									

林學大意	行政法大意	植民政策	獨逸語	合計	實驗及實習(回數)	計畫演習
				三一	二	
				三二	三	
				三四	三	
				三四	四	
				三五	四	
(二)	(二)	(二)	(三)	三三(九)	二	不定時
(二)	(二)	(二)	(三)	三二(九)	二	同上
(三)			(三)	三一(六)	二	同上

林學科

每週教授時數

學科目 ＼ 學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
獨逸語	五	五	五	四	四	四	三	三	三
英語	二	二	二	二	二	二	二	二	二
數學	四	四	三	三	三	三	三	三	三
物理學及氣象學	二	二	二	二	二	二	二	二	二
化學及分析	三	三	三	三(一)	三(一)	三(一)	二	二	二
地質學及土壤學	二	二	二	二	二	二	二	二	二
森林動物學及昆蟲學	二	二	二(二)	二	二	二	二	二	二
森林植物學及樹病學	三	三(三)	二	一	一	一	一	一	一

學科目 ＼ 學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
森林測量學									三
測樹學									三
林價算法及林業較利學									二
造林學							一		
森林保護學									
森林利用學									
森林經理學									
森林工學									
森林理水及砂防工學									
林產製造學									
森林管理法									
森林法規									
林政學									
經濟學及財政學									
法學通論及行政法大意									

狩獵術						二			
農學大意							二	二	
植民政策							(二)	(二)	
教育學							(二)	(一)	
特別講義及實驗							(六)	(八)	(二)
合計	二九	(三)三〇	(二)二九	(三)二九	(三)二九	三〇	(四)(六)二五	(三)(八)二四	(二)二
林學實驗及實習(回數)	二	二	二	四	四	四	三	三	
森林演習				不定時	同上	同上	同上	同上	
森林事務見習							不定時	同上	同上

備考 各學科毎週教授時數中括弧()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧(　)ヲ附スルモノハ農學科ニ在リテハ選擇科目ノ時數、農業土木學科及林學科ニ在リテハ隨意科目ノ時數トス但シ選擇科目ハ二科目以上ヲ選修セシムルモノトス

本表ノ外體操ニ關シテハ各學科各學年共四日以上ノ野外演習ヲ課スルモノトス

第三章　學年、學期及休業日

第六條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條　學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　自四月一日　至八月三十一日

第二學期　自九月一日　至十二月三十一日

第三學期　自一月一日　至三月三十一日

第八條　休業日ハ左ノ如シ但シ休業日ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一、日曜日

一、祝日、大祭日

一、本校記念日　(十一月一日)

一、春季休業　(自三月二十五日　至四月五日)

一、夏季休業　(自七月二十一日　至九月十日)

一、冬季休業　(自十二月二十五日　至一月十日)

第四章　入學、在學、休學及退學

第九條　入學ノ期ハ每學年ノ始トス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校卒業者

二、實業學校卒業者（但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者）

三、前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定合格者

前項第一號乃至第三號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタルモノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十一條　入學檢定ハ學力檢定、身體檢查及口頭試問ニ依リ之ヲ行フ

第十二條　學力檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第十三條　試驗檢定ハ國語、英語、數學、物理、化學、動物及植物ノ中三學科目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第十四條　無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ中學校又ハ實業學校卒業者ニシテ在學中第三學年（實業學校ニ在リテハ之ニ相當スル各學年）ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ全數ノ十分ノ一以內ニ在ル者トス但シ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者ニ限ル

前項ノ場合中學校又ハ實業學校在學者ニ付テハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ席次ヲ以テ最終學年ノ席次ト看做ス

第十五條　無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以內トス

無試驗檢定ニ依リ選拔セラレサリシ者ハ試驗檢定ニ應スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ第十六條ノ書類並入學檢定料ヲ要セス

第十六條　入學志願者ハ第二條ニ掲クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書（第一號書式）

二、履歷書

三、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書（卒業シタル場合ニハ遲滯ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス）若ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書

四、寫眞（入學願出前六箇月以內ニ撮影シタル脫帽半身手札形）

五、無試驗檢定ヲ受クル者ニ在リテハ身體檢查書（在學中最後ノ身體檢查書寫）

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書（第二號書式）ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ

第十七條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以內ニ保證人ノ連署ヲ以テ誓書（第三號書式）及戶籍抄本ヲ差出スヘシ

第十八條　保證人ハ本人ノ父兄又ハ丁年以上ノ親近者ニシテ本校ニ於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

前項ノ父兄又ハ親近者ナキトキハ學生ノ身上ニ關シ一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十九條　保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ速ニ誓書ヲ差出スヘシ

第二十條　保證人改姓、改名、改印、轉居ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

第二十一條　學生ハ本校所定ノ制服、制帽ヲ着用スヘシ

第二十二條　學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ記シ三日以內ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十三條　學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ三箇月以上修業スルコト能ハサルトキハ保證人ノ連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ一箇年以內休學スルコトヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノ時ヨリ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十四條　學生改姓、改名、改印、轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ但シ改姓、改名、轉籍ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添附スルヲ要ス

第二十五條　學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ

學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條　學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十七條　本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限リ詮議ノ上試驗ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試驗ヲ省略ス試驗ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定料ヲ徵收セス

第二十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學業劣等若ハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

四、授業料ノ納付ヲ怠リ出席停止一箇月以上ニ亘ル者

第五章　表彰及懲戒

第二十九條　學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ其ノ成績優等ナル者其ノ他其ノ行爲他ノ模範ト爲スニ足ルト認メタル者ハ之ヲ選拔シテ特待生ト爲シ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生タルコトヲ罷ム

第三十條　學生校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト認メタルトキハ其ノ輕重ニ依リ戒飭、停學又ハ放校ニ處ス

第六章　修業及卒業

第三十一條　各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業ノ成績等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第三十二條　前條ノ考査ニ合格セサル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム但シ場合ニ依リ詮議ノ上假進級ヲ爲サシメ再考査ヲ行フコトアルヘシ

第三十三條　已ムヲ得サル事故ニ依リ試驗ニ缺席シタル者追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條　第三學年ノ終ニ於テハ卒業論文ヲ提出セシメ又ハ卒業試問ヲ行フ

第三十五條　第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文又ハ卒業試問ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十六條　第三學年ノ成績考査ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十七條　本校卒業生ハ其ノ修得セル學科ニ從ヒ農學得業士、農業士木學得業士又ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得

第三十八條　成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　研究生

第三十九條　本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ詮議ノ上研究生トシテ二年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條　研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十一條　研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ作リ指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第八章　選科生

第四十二條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條　選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第九章　入學檢定料、授業料及實驗實習費

第四十四條　入學檢定料ハ金五圓トス入學願書ト共ニ納付スヘシ

第四十五條　授業料ハ一學年本科生ハ金八拾圓、選科生ハ金五拾五圓トス研究生ニハ授業料ヲ徵收セス

第四十六條　授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

本科生　選科生

第一期　自四月至八月　金參拾貳圓　金貳拾參圓
第二期　自九月至十二月　金貳拾八圓　金貳拾圓
第三期　自一月至三月　金貳拾圓　金拾貳圓

第四十七條　研究生及選科生ニハ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第四十八條　入學檢定料、授業料及實驗實習費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十九條　本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニハ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第四十九條ノ二　學生中學資ノ支辨極メテ困難ナリト認ムル者ニハ家庭ノ事情及性行、學業成績等ヲ調査ノ上授業料ヲ減免スルコトアルヘシ

前項授業料ノ減免ハ每學年ノ始メニ於テ之ヲ定ム但シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徵收期分ヨリ減免ス

第四十九條ノ三　前條ニ依リ授業料ノ減免ヲ受クル者ニシテ其ノ事情止ミタリト認ムル場合又ハ學業ヲ怠リ若ハ校則ニ悖ル行爲アリタル場合ハ其ノ翌月ヨリ授業料ヲ徵收ス授業料ノ月割額ハ一學年分ノ十分ノ一トス

第五十條　停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ニハ次期ヨリ授業料ヲ徵收セス

各學期始業日以後授業料徵收期日以前ニ停學、休學又ハ退學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ徵收ス

第五十一條　休學又ハ停學ヲ解除セラレタル者若ハ特待生タルコトヲ罷メラレタル者ニハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徵收ス

第五十二條　授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以內ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十三條　授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ル場合ハ出席ヲ停止ス

第五十四條　寄宿舍ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

第四十五條及第四十六條ハ昭和四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第四十九條ノ二及第四十九條ノ三ハ昭和七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

入學願書

志望學科　第一　何學科
　　第二　何學科

試驗檢定　（又ハ無試驗檢定）

受驗希望場所　何地　（但シ試驗所ヲ二箇所以上トシ廣告シタル場合）

私儀今般御校前記ノ學科ニ入學志望ニ付御許可相成度入學檢定料相添ヘ此段相願候也

本籍

住所　（受信ノ場所）

氏名　印（氏名ニ片假名ヲ付スヘシ）

年月日生

年月日

三重高等農林學校長氏名殿

履歷書　（同一紙裏面ヨリ始ム）

學業

一、何年月日ヨリ何學校ニ入學、何年何月何學校卒業又ハ何年何月ヨリ何年何月マテ何某ニ就キ何學修業

一、何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證明書ヲ受ク等

職業

一、何年何月何官職拜命又ハ何業ニ從事、何年何月退官、廢業又ハ現今何官在職何業從事等

兵役

規則

規　則

一、何年何月何隊入營、何年何月滿期（歸休除隊又ハ補充、國民軍編入等

賞　罰

一、何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

第二號書式

學業成績書

右者本校在學中三年間ノ學業成績左記之通ニ候也

年　月　日　　氏　　名

三重高等農林學校長氏名殿　　學校長　氏　　名　印

學科目 ＼ 學年	第　學年	第　學年	最終學年
何	々		
何	々		
何	々		

平均點數					
席次	人中　番	人中　番	人中　番		
修了年次	昭和　年	昭和　年	昭和　年		

注意　本書ハ當該學校長ヨリ直接本校々長ニ差出スモノトス

第三號書式

誓　書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ專心學業ヲ勉勵可致候仍テ保證人連署ヲ以テ誓書如此候也

本籍
住所
族籍　戶主又ハ何某何男若ハ弟等

年　月　日　　氏　　名　印

年　月　日生

本籍

規　則

三重高等農林學校長氏名殿

住所
族籍　職業　本人トノ關係
右保證人　氏　名　印
年月日生

第五　細則

一、事務規程（大正十一年四月二十日制定）

第一章　總則

第一條　校務ヲ掌理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、圖書課、農學科、農業土木學科、林學科、農場及演習林ヲ置ク

第二條　各課、農場及演習林ニ長ヲ置キ各科ニ主事ヲ置ク

第三條　課長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命シ主事、農場長及演習林長ハ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條　校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條　各主管者ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第六條　所屬職員ハ主管者ノ指揮ヲ受ケ其ノ事務ニ從事ス

第七條　各主管者事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代

理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　分掌セル校務ノ相關聯スルモノハ之ヲ合議スヘシ事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第二章　分掌

第九條　庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
二、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
三、公文書類ノ接受發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
四、庶務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
五、儀式ニ關スル事項
六、官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
七、敍位及敍勳ニ關スル事項
八、規則ノ制定、改廢及命令傳達ニ關スル事項
九、學校一覽及記錄編纂ニ關スル事項
一〇、統計、報告ニ關スル事項
二、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
三、名簿、履歷書及出勤簿ニ關スル事項
三、會議ニ關スル事項
四、宿直ニ關スル事項
五、庶務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
六、他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項

第十條　會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、歲入歲出豫算及決算ニ關スル事項
二、物品ノ出納及保管ニ關スル事項
三、金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
四、官有財產及資金ノ監理ニ關スル事項
五、建物及校地ノ使用營繕ニ關スル事項
六、物品購入及不用品處分ニ關スル事項

七、傭人ノ進退、賞罰及取締ニ關スル事項
八、校舍内外ノ洒掃ニ關スル事項
九、建物及校地ノ警備取締ニ關スル事項
一〇、電燈、電話、瓦斯、給水及煖房ニ關スル事項
二、會計課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
三、會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

第十一條　教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、教室、講堂、教具、教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項
二、教授事項ノ分擔及日課ノ配當ニ關スル事項
三、授業及休業ニ關スル事項
四、學生募集並ニ入學檢定ニ關スル事項
五、學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
六、成績考査、進級及卒業ニ關スル事項

七、教官會議ニ關スル事項
八、修學旅行ニ關スル事項
九、學事報告ニ關スル事項
一〇、教務ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
二、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、參觀人ニ關スル事項
三、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第十二條　學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
二、學生ノ風紀取締ニ關スル事項
三、學生ノ衛生及身體檢査ニ關スル事項
四、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
五、學生ノ願届ニ關スル事項
六、學生ノ兵役ニ關スル事項

七、學生ノ入退舍、外泊、通學、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
八、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
九、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
一〇、非常事變ニ關スル事項
二、學生課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
三、學生課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、其ノ他學生取締ニ關スル一切ノ事項

第十三條　圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、圖書ノ出納、整理及保管ニ關スル事項
二、圖書ノ貸付ニ關スル事項
三、書庫及閱覽室ニ關スル事項
四、官報、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ整理保存ニ關スル事項
五、圖書課ニ關スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
六、圖書課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
七、圖書ノ調査ニ關スル事項
八、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十四條　農學科、農業土木學科及林學科ニ於テハ各左ノ事項ヲ管掌ス
一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項
二、前號ニ伴フ建物、試驗地及物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、教授要旨及教授細目ノ編纂整理ニ關スル事項
四、教授分擔ニ關スル事項
五、事業功程ニ關スル事項
六、農學科ニ於テハ植物園ニ關スル事項
七、林學科ニ於テハ林學實習場ニ關スル事項
八、其ノ他當該學科ニ關スル事項

第十五條　農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、農場ノ經營管理ニ關スル事項
二、農事實驗實習ニ關スル事項

三、養蠶實習ニ關スル事項
四、家畜飼育管理ニ關スル事項
五、農產製造及畜產製造實習ニ關スル事項
六、生產物處分ニ關スル事項
七、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
八、其ノ他農場ニ關スル事項

第十六條　演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項
二、森林演習ニ關スル事項
三、生產物處分ニ關スル事項
四、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
五、其ノ他演習林ニ關スル事項

二、物品會計細則（大正十二年四月二十一日制定）

第一條　本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本則ニ據リ處理スヘシ

第二條　物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

備品
- 通常備品（共用／專用）
- 學術用備品（器具／機械／標本）
- 動物
- 圖書

消耗品
- 通常消耗品
- 實驗用消耗品（藥品、材料及雜品／飼料、肥料、種苗）

第三條　備品ニハ品名、番號及校名ヲ記載シタル標札ヲ附スヘシ之ヲ各部局ニ支給ス

ル場合ハ更ニ其ノ部局名ヲ記入スルモノトス但シ之ヲ附スルコト能ハサル物品ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ

第四條　各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名、數量及需要ノ事由等ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ但シ註文上仕樣書及圖解等ヲ要スルモノハ之ヲ添附スヘシ

第五條　會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ經テ購入及支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一箇年ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　各部局ニ於ケル實驗實習上生產シタル物品ハ當該物品取扱主任ニ於テ其ノ品名、數量、評價及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第八條　前條生產物又ハ保管轉換若ハ寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ其ノ品名、數量及價格若ハ評價ヲ附シ學校長ノ許可ヲ經テ藏置、賣却又ハ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條　名部局ニ備品ニ付物品監守者、消耗品ニ付物品取扱主任一名若ハ數名ヲ置ク其ノ監守區域及取扱物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム

第十條　職員執務用机、椅子類及被服類ハ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十一條　職員及傭人ノ新任轉免ノ際ハ會計課ハ其ノ都度專用備品ノ支給、返付ノ事ニ當ルヘシ

第十二條　物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ備品ハ監守簿ニ、消耗品ハ受拂簿ニ記帳シ現物ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ備品ニ在リテハ監守簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十三條　物品監守者變更シタルトキハ新舊監守者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類トヲ照合シ引繼ヲ爲スヘシ引繼ヲ了シタルトキハ新舊監守者連署シ其ノ旨物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十四條　物品監守者間ニ於テ物品監守換ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲ爲スヘシ

第十五條　物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定ノ請求書ヲ添ヘ會計課ニ差出スヘシ

會計課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ修理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條　物品監守者監守中ノ物品不用トナリ又ハ毀損シ修理ヲ加フルモ使用ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ旨所定ノ物品返付用紙ニ記載シ現品ト共ニ會計課ニ差出シ物品會計官吏ノ受領證ヲ受ケ物品監守簿ニ其ノ事由年月日ヲ記載シ之ヲ抹消シ置クヘシ

第十七條　監守物品ノ標札ノ汚損若ハ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ標札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條　監守物品ニシテ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ其ノ品名數量番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條　不用ニ歸シタル物品又ハ毀損ノ物品ニシテ修理使用ノ見込ナキモノアルトキハ物品會計官吏ニ於テ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十條　使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局物品監守簿トヲ照合シ更ニ監守簿ト現品トヲ照査スルコト

二、消耗品ハ毎學期一回以上物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ照合シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

三、前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之

ヲ整理スヘシ

一、備品出納及支給簿

本簿ニハ圖書以外ノ備品ヲ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ種別順、品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、年月日、納人等ヲ登記シ供用、在庫ノ現數並ニ物品ノ出納ヲ明ニスヘシ

貴重物品ニ付テハ其ノ製作番號又ハ現品タルヲ知ルニ足ル事項ヲ關係書ニ記入スヘシ

二、圖書出納簿

本簿ニハ圖書ノ部門別ニ從ヒ圖書名、部數、冊數、價格、番號、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、消耗品出納簿

本簿ニハ通常消耗品ニ在リテハ帳簿用紙類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、薪炭油類、雜品類、雜用品類、實驗用消耗品ニ在リテハ實驗材料及雜品類、藥品類、肥料類、飼料類、種苗類等ニ區別シ品名、數量、價格、年月日、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

但シ通常消耗品ニ在リテハ品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ登記スヘシ

四、生產品出納簿

本簿ニハ實驗實習ニ依ル生產品又ハ製造品ノ品名、數量、價格、年月日等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

五、專用備品支給簿

本簿ニハ職員又ハ傭人ニ支給スル專用備品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ物品會計官吏ト其ノ支給ヲ受クルモノトノ受授ヲ明ニスヘシ

第二十二條　各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品監守簿

本簿ニハ圖書以外ノ監守物品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名、部數、冊數、價格、年月日等ヲ登記シ圖書ノ現況

ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ郵便切手類以外ノ消耗品ヲ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ拂受者ノ證印ヲ押捺セシムヘシ

四、郵便切手類受拂簿

本簿ハ庶務課ニ之ヲ備ヘ種別毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ當該物品取扱主任ハ常ニ帳簿ノ殘高ト現品トヲ照査スヘシ

第二十三條　本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ定期、臨時ノ二種ニ分チ毎年一回以上實地ニ就キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閲ハ八月トシ臨時檢閲ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ執行ス

一、物品保管ノ適否

二、備品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

五、帳簿ト現品トノ對照

第二十四條　物品檢閲委員ハ委員長一名、委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十五條　物品檢閲ハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ在リテハ物品監守者、消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ニ就キ其ノ保管ニ屬スル物品ノ全部ヲ精細ニ檢査スヘシ

前項ノ檢閲ヲ受クル者ハ實地ニ就キ檢閲委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十六條　物品檢閲委員檢査ヲ了シタルトキハ帳簿ニ其ノ年月日ヲ記シ署名スヘシ

第二十七條　物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ當該責任者ヨリ補塡ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徵スヘシ

第二十八條　物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ了シタルトキハ檢閲ノ顚末ニ意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以内ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第二十九條　本則ニ據ル諸帳簿並諸表ハ別紙樣式ニ依リ調製スヘシ

備品監守區域及消耗品取扱種目表

部局名	備品監守區域	消耗品取扱種目
庶務課	校長室、講堂、貴賓室、會議室、應接室、奉安殿、庶務課室	郵便切手及端書
教務課	普通教室、教官室、教務課室	通常消耗品中教授用ノモノ
會計課	會計課室及他ノ部局ニ屬セサル箇所	通常消耗品
學生課	寄宿舍、學生集會所、消防器具置場、銃器室、武道場、學生控所、學生課室、弓道場、更衣室	
圖書課	圖書館、書庫	實驗用消耗品
植物學實驗室	植物及植物病理實驗室、培養基製造室、定溫器室、細菌室、博物教室、硝子室	同
動物學實驗室	動物研究室、昆蟲研究室、顯微鏡寫眞室、顯微鏡實驗室、農學實驗室	同
物理學實驗室	物理實驗室、物理器具機械室、電池室、教官室、物理教室、氣象觀測所、發電機室	同
化學實驗室	分析室、天秤室、化學器具機械室、試藥室、教官室、化學教室、藥品庫、瓦斯發生室、燕鎗室、農產製造室、有毒瓦斯處理室	同
養蠶學實驗室	養蠶室、蠶積貯藏庫、乾燥室	同
園藝學實驗室	園藝研究室、溫室、熱帶植物溫室	同
實驗農場園藝實習	園藝圃場、固定溫床、土壤作業室	同
畜產學實驗室	畜產實驗室、家畜家禽舍、飼料室、燻煙室、酪農室、秤場	實驗用消耗品
作物實驗室	作物實驗室、作物栽培實驗室	同
農學科標本室	農學科標本室	
農政研究室	農政研究室	
農業土木學科	農業水利研究室、機械研究室、應用力學研究室、材料實驗室、機械實驗室、農業土木測量機械室、農業土木學科製圖室、農業土木學科標本室	實驗用消耗品
林學科	森林理水及砂防工研究室、森林利用研究室、造林及經理研究室、林政研究室、林學實驗室、林學科標本室、林學測量機械室、林學科製圖室、林產製造室、演習林	同
實驗農場	農場管理室及實習室、作業室、收納室、穀物庫、農業器具機械室、堆肥舍、物置、藁置場、簡易堆肥及水肥舍、燻蒸室、農夫詰所、ポンプ室	同 通常消耗品中事務用ノモノ
農業機械製作室	農業機械製作室	實驗用消耗品

三、圖書館規程（大正十三年十二月十七日制定）

總則

第一條　本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽又ハ貸付ニ供ス

第二條　圖書ヲ分チテ普通圖書及特別圖書ノ二種トス

第三條　本校卒業者、官廳學校職員、公私團體ノ役員又ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ經タルモノハ圖書ヲ閱覽シ又ハ之ヲ借受クルコトヲ得

第四條　本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

圖書閱覽

第五條　閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク但シ開閉ノ時限ハ變更ノ都度之ヲ揭示ス

第六條　學生閱覽室ニ入ラントスルトキハ圖書閱覽票ヲ館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

第七條　圖書ヲ借覽セントスル者ハ所定ノ圖書閱覽傳票用紙ニ相當事項ヲ記入シ館員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ之ヲ返納スヘシ但シ閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ超ユルヲ得ス

第八條　圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及雜誌類ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽了ラハ直ニ所定ノ位置ニ納メ置クヘシ

第九條　閱覽室ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ音讀、談話、喫煙等ヲ爲スヘカラス

第十條　閱覽室ニハ圖書、文房具ノ外他ノ物品ヲ携帶スルコトヲ得ス

第十一條　圖書閱覽票ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

圖書貸付

第十二條　圖書ヲ借受ケントスル者ハ所定ノ圖書借受證用紙ニ相當事項ヲ記入シ捺印ノ上館員ニ差出スヘシ

第十三條　圖書借受ノ冊數ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ學校長若ハ當該學科主任教官ノ證明ニ依リ圖書課長ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

教官　五冊　其ノ他　二冊

第十四條　教授上又ハ事務上必要アルトキハ前條ノ外圖書ヲ借受ケ研究室又ハ事務室ニ之ヲ備付クルコトヲ得此ノ場合ニハ當該學科主任教官又ハ課長其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十五條　圖書館ニ所藏スル教科書ニ就キテハ毎學年ノ始メ當該教官ニ於テ豫メ冊數ヲ取纏メ借受ノ申出アルトキハ之ヲ貸付スルコトアルヘシ但シ當該教官其ノ保

細則

管ノ責ニ任スルモノトス

第十六條　特別圖書及普通圖書ノ中辭書、諸學科ニ通スル參考書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ貸出スコトヲ得ス但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ之ヲ貸付セス

第十八條　凡テ借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス但シ第十四條ニ依ル圖書ハ第十二條ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

第十九條　學生ニシテ圖書ヲ借受ケタルモノハ十日以内ニ之ヲ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アルトキハ更ニ第十二條ノ手續ニ依ルヘシ但シ第十五條ニ依リ借受ケタルモノ及第三條ニ依リ借受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ニ依リ職員ノ借受ケタルモノハ一箇月以内トス

第二十條　凡テ借受ケタル圖書ハ夏季及冬季休業前又ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ悉皆返納スヘシ但シ第十四條ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　夏季及冬季休業中圖書ヲ借受ケントスル者アルトキハ職員ハ圖書課長學生ハ圖書課長及當該學科教官ノ許可ヲ得タルモノニ限リ之ヲ貸付クルコトヲ得但シ該圖書ハ夏季ニ於テハ九月十五日マテニ、冬季ニ於テハ一月十五日マテニ返納スヘシ

第二十二條　貸付シタル圖書ハ第十三條、第十四條及第十五條ノ孰レニ依ルモノタルヲ問ハス臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ但シ第十四條ニ依ル圖書ニ就キテハ時宜ニ依リ本館員出張ノ上點檢スルコトヲ得

第二十三條　職員退職、轉任ノ場合、學生卒業、退學、休學等ノ場合ハ其ノ借受ケタル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

圖書檢索

第二十四條　各部局長及教官公務上必要アルトキハ圖書館員ノ承諾ヲ得テ書庫内ニ入リ圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ニ障礙ヲ及ホサヽル樣注意スヘシ

制裁

細則

第二十六條　借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ若シ紛失汚損等ノ行爲アルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ之ヲ修補セシム但シ時宜ニヨリ相當ノ代價ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條　本則ニ違背シタルモノ其ノ他本館員ニ於テ必要アリト認ムルモノアルトキハ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第二十八條　圖書ヲ辨償セシメ又ハ閱覽、貸付ヲ禁スヘキモノアリト認ムルトキハ圖書課長ハ豫メ意見ヲ具シ學校長ニ稟申スヘシ

四、農場規程（昭和六年六月二十六日制定）

第一條　場務ヲ處理スル爲農場ニ左ノ九部ヲ置ク

一、總務部
二、作物部
三、園藝部
四、栽桑部
五、養蠶部
六、畜產部
七、農產製造部
八、林產製造部
九、森林苗圃部

第二條　各部ニ主任ヲ置キ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

主任ハ農場長ノ指示ニ依リ部務ヲ處理ス

第三條　各部ニ於テ處理スヘキ事務凡ソ左ノ如シ但シ事務ニシテ二部以上ニ關聯スルモノニ就テハ關係各部ハ總務部ヲ經協議ノ上之ヲ處理スルモノトス

一、總務部
（一）農場ノ一般的經營管理ニ關スル事項

細則

(二)生産物處分ニ關スル事項
(三)肥料及通常消耗品ノ購入、配給ニ關スル事項
(四)傭人ニ關スル事項
(五)各種事業ニ對スル經濟調査ニ關スル事項
(六)氣象觀測ニ關スル事項
(七)農場主任會議ニ關スル事項
(八)公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
(九)他部ニ屬セサル土地、建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項

二、作物部

(一)普通作物及特用作物ニ關スル事項
(二)專用器具機械、共用農具及動力農具ニ關スル事項
(三)灌漑排水ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

三、園藝部

(一)園藝ニ關スル事項
(二)園藝生産物加工ニ關スル事項
(三)專用器具機械ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

四、栽桑部

(一)栽桑ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

五、養蠶部

(一)養蠶ニ關スル事項
(二)養蠶生産物加工ニ關スル事項
(三)專用器具機械ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

六、畜産部

細則

(一)家畜家禽ニ關スル事項
(二)畜産物加工ニ關スル事項
(三)飼料作物ニ關スル事項
(四)廐肥ノ製造ニ關スル事項
(五)專用器具機械ニ關スル事項
(六)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

七、農產製造部

(一)農產製造ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

八、林產製造部

(一)林產製造ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

九、森林苗圃部

(一)森林苗圃ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

第四條　各部ハ左ノ事項ニ關スル書類ヲ總務部ニ提出スヘシ

一、每年度學生實驗實習計畫
二、每年度事業計畫及經費豫算
三、前年度事業成績
四、各學期學生實驗實習成績
五、物品ヲ購入シタルトキハ其ノ品目、數量及價格
六、其ノ他總務部ニ於テ必要ト認ムル事項

前項中第一號乃至第四號ニ就テハ總務部ニ於テ各總括編成ノ上農場長ニ提出シ農場長ハ之ヲ農場主任會議ノ議ニ附スヘシ

前項中第一號及第二號ニ關シ實施上變更ヲ生シタルトキ又ハ各部既定計畫以外臨

時實施ヲ要スヘキ事項ヲ生シタルトキハ之ヲ總務部ニ報告スヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テハ豫メ變更案又ハ實施案ヲ總務部ニ提出シ農場主任會議ノ議ヲ經ルヲ要ス

第五條　農場主任會議ハ各部主任ヲ以テ組織シ農場長之ヲ主宰ス
農場長必要アリト認ムルトキハ農場主任會議ニ各部所屬職員又ハ其ノ他本校職員ノ列席ヲ求ムルコトヲ得

第六條　各部所屬職員以外ノ職員ニシテ本場ニ於テ實驗ヲ爲サントスル場合ハ豫メ其ノ計畫ヲ總務部ニ申出テ農場長ノ許可ヲ受クヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テハ農場長ハ農場主任會議ノ議ヲ經テ之ヲ決ス

五、總代規程（大正十一年七月二十七日制定）

第一條　各學科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

第二條　總代ハ其ノ級ヲ代表シ學校ト學生及各級間ノ關係ノ圓滑ヲ圖リ兼テ級ノ統一、秩序及風紀ノ振作ニ努ムヘシ

第三條　副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四條　各級學生ハ各學期ノ始ニ於テ其ノ級總代及副總代ノ候補者五名ヲ投票ニ依リテ選舉スヘシ

第五條　總代及副總代ハ前條ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス但シ其ノ候補者適當ナラスト認ムルトキハ更ニ選舉ヲ行ヒ別ニ候補者ヲ定メシムルコトアルヘシ

第六條　第一學年第一學期ニ在リテハ前二條ノ規定ニ依ラス學校長ハ適宜總代及副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

第七條　總代及副總代ノ任期ハ一學期間トス

第八條　總代又ハ副總代ニシテ其ノ任ニ適セスト認ムルモノアルトキハ學校長ハ之ヲ免シ第四條及第五條ノ手續ニ依リ更ニ總代又ハ副總代ヲ任命スルコトアルヘシ
前項ニ依ル總代又ハ副總代ノ任期ハ其ノ殘期間トス

六、學生制服規程（大正十一年九月十一日制定）

第一條　學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽子
- 地質　黒絨
- 前章　金色如圖
- 眼庇　黒革
- 顎紐　黒革（幅三分）
- 釦　金色圓形
- 帶布　黒色綾織（幅一寸五分）
- 制式　如圖

衣
- 地質　黒「サージ」但シ夏ハ黒「セル」
- 釦　金色如圖
- 襟章　左襟ニ農學科ハA、農業土木學科ハE、林學科ハFノ金字ヲ附ス
- 制式　如圖

袴
- 地質　衣ニ同シ
- 制式　如圖

靴　黒色但シ教練ノ際ハ編上靴若ハ深護謨靴ニ限ル教練ノ際ハ茶褐色ノ卷脚袢ヲ用フヘシ

外套ヲ着用スル場合ハ黒又ハ黒味勝質素ノ地質ノモノヲ選フヘシ

第二條　制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ但シ寄宿生ノ舍内ニ在ルトキハ此ノ限ニ在ラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定シタルトキ

第三條　實習實驗等ニ從事スルトキハ所定ノ作業服（地質カツラギ織茶褐色、制式如圖）ヲ着用セシムルコトアルヘシ但シ必要アル場合ニハ教練ノ際ニモ之ヲ着用セシムル

第四條　疾病其ノ他ノ事故ニ依リ制服ヲ着スルコト能ハサル者ハ生徒主事ノ許可ヲ

細則

得テ和服ヲ着用スルコトヲ得

第五條　冬服夏服ノ着用期間左ノ如シ

冬服　自十月一日　至五月十五日

夏服　自五月十六日　至九月三十日　但シ第一學年生ハ五月一日ヨリ之ヲ着用スルコトヲ得

第六條　夏服着用期間ハ略帽麥藁帶布黒無地織前章正帽ノ場合ニ同シ)ヲ用フルコトヲ得

第七條　學生外出スルトキハ制服又ハ袴制帽ヲ着用スヘシ

第八條　新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第九條　選科生ニハ本規程ヲ準用ス但シ衣ニ襟章ヲ附セサルモノトス

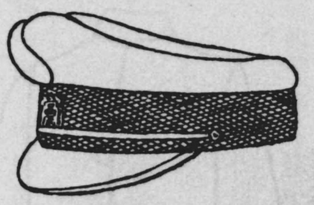
附則

一、第三條ノ改正ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二、第三條改正規定施行ノ際現ニ在學スル者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

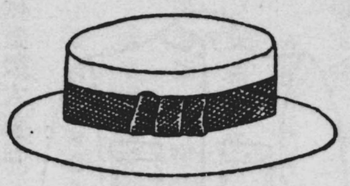
三、作業服規程ハ昭和四年四月一日限リ之ヲ廢止ス

正帽



前章

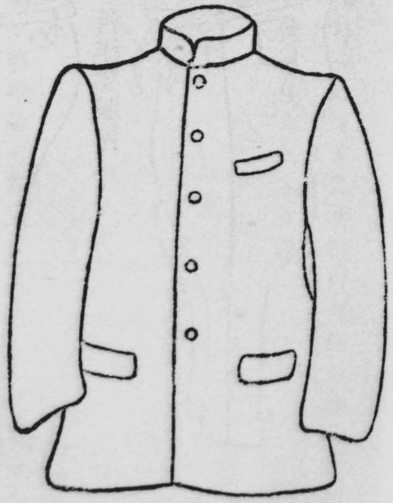
略帽



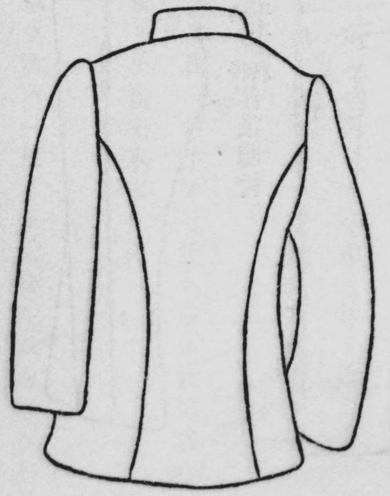
細則

卸

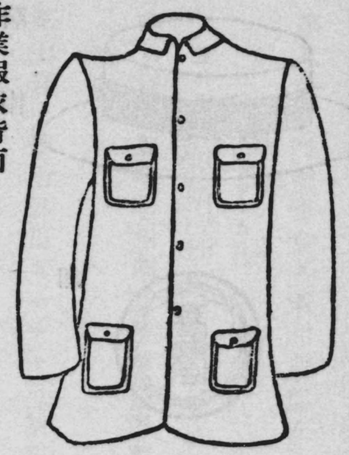
衣前面



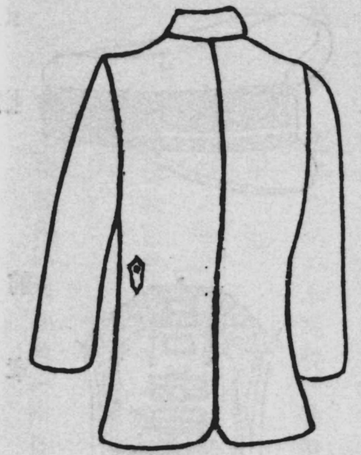
衣背面



作業服衣前面



作業服衣背面



農學科
農業土木學科作業服袴

林學科作業服袴

袴

四、第一條中衣地質ノ項ノ改正ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本改正規定施行以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

七、寄宿舍規程（大正十一年九月十三日制定）

第一條　寄宿舍ハ本校學生ヲ寄宿セシムル所トス

第二條　學生入舍ノ際ハ保證人連署ノ上入舍願ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三條　舍生ハ猥リニ退舍スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ退舍セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上生徒主事ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第四條　寄宿舍ニ委員六名、室總代若干名ヲ置ク委員ハ舍生ノ互選ニ依ル候補者中ニ就キ學校長之ヲ命シ室總代ハ室員ノ互選ニ依リ生徒主事之ヲ命ス

第五條　委員ハ生徒主事及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舍内一般ノ風紀、衛生及會計、炊事等委員及室總代ノ任期ハ一學期間トス

ノ事ニ當リ衆テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第六條　室總代ハ室内整理ノ責ニ任シ衆テ室員ヲ代表ス

第七條　各室員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第八條　舍内日課時限ハ學校長ノ許可ヲ受ケ生徒主事之ヲ定ム

第九條　起床、就褥、喫飯及人員點檢ノ時刻等ハ振鈴喇叭又ハ半鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第十條　舍内ニ在リテハ靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル所爲アルヘカラス

第十一條　常ニ室内外ノ清潔整頓ニ努メ舍内ニ於テ苟モ不潔汚穢ノコトナキ樣留意スヘシ

第十二條　常ニ火氣ノ取扱ニ注意シ決シテ危險ノ所爲アルヘカラス

第十三條　室内備付ノ器具ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模樣更ヘヲ爲スヘカラス

第十四條　修業上必要ノ書類及物品ノ外ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帶スルコトヲ得ス

第十五條　荷物ヲ門外ニ持チ出タサントスルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條　舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者亡失者判明セサルトキハ舍内又ハ室内一同ノ者ヲシテ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十七條　舍内ニ於テハ上草履又ハ「スリツパ」ノ外用フヘカラス

第十八條　火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ舍生一同協力シ生徒主事及職員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ノ防止ニ盡力スヘシ

第十九條　疾病ニ罹リタル者又ハ金錢物品ヲ紛失シタル者アルトキハ速ニ本人又ハ室總代ヨリ其ノ旨學生課ニ届出ツヘシ

第二十條　舍内ニ談話室、圖書室、會議室及娯樂室等ヲ設ケ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ使用セシム

第廿一條　食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第廿二條　定時間外若シ入浴ノ必要アルトキハ豫メ學生課ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第廿三條　外來人ニ面會スルトキハ必ス應接室ニ於テスヘシ但シ已ムヲ得サル場合

ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受ケ其ノ他ノ室ニ於テ面會スルコトヲ得

第廿四條　人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ於テ生徒主事又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ但シ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ點檢ヲ受クルコト能ハサル者ハ其ノ旨豫メ届出ツヘシ

第廿五條　已ムヲ得サル事情ニ依リ所定ノ時限外ニ外出セントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第廿六條　疾病ノ爲メ缺席、缺課シタル場合ハ其ノ當日ハ外出スルコトヲ得ス但シ生徒主事ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第廿七條　外出中已ムヲ得サル事故ニ依リ歸舍時限ニ遲レタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ翌日中ニ届出ツヘシ

第廿八條　已ムヲ得サル事情ニ依リ外泊又ハ旅行セントスルトキハ豫メ其ノ事由、日數及外泊先又ハ旅行先ヲ記シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ歸舍ノ際ハ宿所先ノ證明書ヲ差出スコトヲ要ス

外出中俄ニ外泊スルノ必要ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日歸舍時限マテニ其ノ事由ト居所トヲ届出テ歸舍ノ際宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第廿九條　疾病ニ罹リタル者ハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケシメ重病、傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルトキハ期間ヲ定メ入院又ハ外泊セシムルコトアルヘシ

第三十條　食費及諸雜費ハ指定ノ日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ

八、寄宿料規程（大正十一年九月十三日制定）

第一條　本校寄宿舍ニ入舍スル者ハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生ニハ之ヲ免除ス

第二條　寄宿料ハ一箇年金拾六圓五拾錢トス

第三條　寄宿料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ之ヲ徴收ス

第一期　自四月至八月　金六圓

第二期　自九月至十二月　金六圓

第三期　自一月至三月　金四圓五拾錢

細則

第四條　寄宿料ハ第一期ハ四月十一日ヨリ同十五日マテ第二期ハ九月十一日ヨリ同十五日マテニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第五條　半途入舍スル者ハ其ノ期ノ寄宿料ヲ一箇月金壹圓五拾錢トシ月割ヲ以テ入舍ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

前項ニ依リ算出シタル金額其ノ期ノ全額ヨリ多キトキハ其ノ期ノ全額トス

第六條　寄宿料徴收期日以前ニ退舍スルモノハ一箇月金壹圓五拾錢ノ月割ヲ以テ即時納付スヘシ

第七條　一旦納付シタル寄宿料ハ半途退舍スルト雖之ヲ返付セス

第八條　寄宿料ヲ期限内ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ尚納付ヲ怠ル者ハ本校規則第二十八條ニ準シ處分ス

九、授業料徴收規程（大正十一年九月二日制定）

第一條　授業料ハ左ノ期間内ニ之ヲ徴收ス

第一期　四月十一日ヨリ同十五日マテ

第二期　九月十一日ヨリ同十五日マテ

第三期　一月十一日ヨリ同十五日マテ

第二條　本校規則第五十條第二項第五十一條ノ規定ニ該當スルモノハ其ノ事項發生ノ日ヨリ五日以内ニ授業料ヲ納付スヘシ

第三條　授業料ヲ徴收期限マテニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ催告後尚怠納五日以上ニ亘ル者ハ其ノ出席ヲ停止ス但シ特別ノ事情ニ依リ會計課ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　實驗實習費ヲ徴收スルトキハ別ニ其ノ金額及徴收日ヲ告示ス

第二條及第三條ノ規定ハ實驗實習費ニ關シ之ヲ準用ス

十、校旗規程（昭和四年五月十日制定）

第一條　校旗ハ本校ヲ代表スル徴幟トス

第二條　校旗ハ左ノ制式ニ依ル

（制式略ス）

第三條　校旗ニ對シテハ職員、學生常ニ敬虔ノ念ヲ以テ之ヲ尊重擁護スヘシ

第四條　校旗ハ校長室ニ保管シ其ノ出納ハ庶務課長之ヲ掌ル但シ非常ノ場合ニ於テハ職員、學生ハ校旗ニ對シ臨機ノ處置ヲ爲スモノトス

第五條　校旗出場ノ場合左ノ如シ

一、全校ノ行動ニシテ學校ヲ表示スルトキ

二、本校ニ於ケル重要ナル儀式擧行ノトキ

三、其ノ他學校長ノ特ニ必要ト認メタルトキ

第六條　校旗捧持ノ爲旗手一名、副旗手二名ヲ置ク

旗手ハ校旗ノ捧持ニ任ス副旗手ハ常ニ旗手ニ伴ヒ必要アル場合之ニ代ルモノトス

第七條　旗手及副旗手ハ第二學年生中品行方正ニシテ體位勝レ學業成績優秀ナル者ニ就キ毎年一月學校長之ヲ命ス

旗手及副旗手事故アルトキハ學校長ハ臨時旗手及副旗手ヲ命スルコトアルヘシ

十一、通學生規程（大正十一年九月十四日制定）

第一條　通學生ハ本校ニ於テ適當ト認ムル宿所ニ寄宿スヘキモノトス

第二條　通學生其ノ宿所ヲ定メントスルトキハ豫メ宿所願ヲ差出シ生徒主事ノ認可ヲ受クヘシ宿所變更ノ場合亦同シ

宿所願記載事項ニ變更ヲ生シタル場合ハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第三條　通學生ハ本校學生二名以上同宿スヘシ但シ父兄其ノ他尊屬ノ居所ヨリ通學スル者又ハ已ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ日ヲ限リ之ヲ變更セシムヘシ

第五條　通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シ之ヲ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脫シタルトキ又ハ休學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラントスルトキハ直ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第六條　通學生ニシテ旅行、外泊又ハ歸省一週間以上ニ亘ルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ學生課ニ届出ツヘシ

第七條　通學生ノ宿所ハ本校職員隨時之ヲ點檢スヘシ

十二、非常警備及手配規程（大正十二年一月三十一日制定）

第一　警備

第一條　暖爐又ハ火鉢使用中ハ巡視及小使時々各室ヲ巡視シ火氣ノ疎漏ナキ樣注意スヘシ

學生控所又ハ一時授業ヲ爲サヽル教室等ハ特ニ每時間授業開始後十分以內ニ之ヲ巡視スヘシ

第二條　終業又ハ退廳ノ際ハ小使直ニ暖爐、火鉢等ノ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ之ヲ掃除スヘシ暖爐又ハ火鉢使用中ハ職員退廳ノ際巡視又ハ小使ニ其ノ旨ヲ告ケ退出スヘシ

第三條　寄宿舍ニ於テハ學生不在中小使時々各室ヲ巡視シ火氣ヲ警戒スヘシ

寄宿舍生ハ始業、就寢又ハ外出十分前各自使用ノ火鉢ヲ火氣ノ疎漏ナキ樣室外廊下

ニ出タシ小使ハ直ニ其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第四條　炊事場及風呂場ニ於テハ火夫及炊夫常ニ火氣ヲ警戒シ用火後ハ能ク其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第五條　火氣及焚灰等取除キ及運搬ノ際ハ疎漏ナキ樣能ク注意シ取除キタル火氣及焚灰等ハ一定ノ場所ニ持チ行キ充分之ヲ始末スヘシ

第六條　小使、火夫及炊夫ハ火氣、焚灰等ヲ取除キ其ノ始末ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ宿直員ニ報告スヘシ

宿直員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ巡視、寄宿舍ニ在リテハ小使ト共ニ之ヲ臨檢シ萬一ニモ過失ナキ樣注意スヘシ

第七條　室ノ出入口ニ鎖鑰ヲ施ス必要アルモノハ火氣ヲ取除キタル後二時間ヲ經過シ二回以上點檢シタル上之ヲ施スヘシ

第八條　夜間ハ宿直員一回以上及巡視二回以上各建物ノ內外ヲ巡視シ萬事警衛ノ任ニ當ルヘキハ勿論巡視ノ際特ニ火氣ニ注意スヘシ

寄宿舍ニ在リテハ舍生就寢一時間後火夫又ハ小使一回以上舍內ヲ巡視スヘシ

第九條　構內ニ在リテハ特定ノ場所以外ニ於テ喫煙又ハ焚火ヲ爲スヘカラス
煙草吸殼ハ必ス火鉢又ハ灰吹ニ棄入スヘシ

第十條　暖爐、火鉢、運火器等使用中ハ破損ノ箇所ナキ樣常ニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ使用ヲ禁シ修理ヲ加フヘシ
煙突ハ每週一回之ヲ掃除スヘシ

第十一條　倉庫ノ入口及窓ノ非常口ハ會計課ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミ其ノ完全ヲ計リ且ツ常ニ目塗用土ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置キ臨機使用ニ差支ナキ樣注意スヘシ

第十二條　職員及傭人ハ終業又ハ退廳ノ際書類、器具及機械等ヲ夫々整頓シ容器アルモノハ之ニ納メ鎖鑰アルモノハ之ヲ施シ所定ノ場所ニ置キ又非常ノ場合第一ニ持退ノ要アル重要書類其ノ他貴重物品ノ容器ニハ見易キ箇所ニ「非常持退」ト朱書シタル紙片ヲ貼付シ置クヘシ

第十三條　火災警備ニ付テハ職員、學生及傭人等一同常ニ能ク注意シ苟モ災害ノ起ラサル樣心掛クヘシ若シ之ニ關シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ臨機ノ措置ヲ爲シ直ニ建物監守者、擔任教官又ハ會計課長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條　火災、風害等非常事變豫防ノ爲メ建物監守者及會計課長ハ常ニ警備監督ノ任ニ當ルヘシ
實驗又ハ實習ニ火氣ヲ使用スル場合ハ擔任教官主トシテ其ノ責ヲ負ヒ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

第十五條　火災其ノ他非常事變ノ警備ニ關シ若シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ建物監守者、擔任教官又ハ會計課長ハ之ニ嚴重ナル戒諭ヲ加ヘ又ハ適當ノ措置ヲ爲シ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二手　配

第十六條　校內ノ失火等非常事變ノ際ハ宿直員、巡視又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ハ直ニ最寄備付ノ消火器又ハ給水栓及布「ホース」等ヲ以テ手後レナキ樣相當ノ手配ヲ爲シ同時ニ當該建物監守者、擔任教官、會計課長及學校長ニ急報スヘシ

第十七條　校內失火又ハ近火等ニシテ多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニハ前條ノ外警鐘及其ノ他ノ方法ヲ以テ廣ク急報シ且ツ速ニ警察署ニ報知スヘシ

第十八條　前條ノ急報ヲ聞キタルトキハ職員及傭人一同直ニ駈付ケ上官ノ指揮ニ從

ヒ各其ノ部署ニ就クヘシ

學生ハ寄宿舍玄關前庭ニ集合シ各掛長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條　校内失火又ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ庶務課員又ハ宿直員ニ於テ先ツ御眞影並ニ勅語謄本ヲ校内安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第二十條　火災ノ手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

(イ)防火掛

(ロ)運搬掛

(ハ)警戒掛

第廿一條　各掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

(イ)防火掛

一、校内出火ノ際ハ直ニ備付ノ消火器及喞筒ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スコト

二、近火ノ際ハ適宜ノ場所ニ喞筒ヲ引出シ延燒ノ虞アルトキハ建物ニ水ヲ注キ充分豫防ヲ爲スコト

三、防火上障害ト認ムルモノハ之ヲ撤去又ハ破壞スルコト

(ロ)運搬掛

一、校内ノ書類圖書器具機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スルコト

二、物品ヲ運搬スル順序ハ火元最寄ノ場所ヨリ始メ且ツ「非常持退」ト記シタル貴重品ヲ先ニシテ書類圖書其ノ他一般ノ物品ニ及フコト

(ハ)警戒掛

一、學校ノ周圍ヲ警戒シ本校職員學生傭人其ノ他官衙ノ職員警官消防夫及常時出入ノ諸商人職工ノ外ハ入ルヲ禁止スルコト

二、出入口ニ受付所ヲ設ケ出入者ヲ監視シ且ツ駈付人氏名等ヲ書留メ置クコト

三、始終校内ヲ巡邏シ盜難等ヲ警戒スルコト特ニ搬出シタル物品ニハ監視者ヲ付シ嚴重ニ取締ヲ爲スコト

四、倉庫ヲ警戒シ其ノ出入口及窓等ニ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬ノ上又ハ運搬ヲ待タス直ニ之ヲ締切ル等適宜手配ヲ爲スコト

五、夜中ニ在リテハ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉

ノ用意ヲ爲スコト

第廿二條　各掛ニ長ヲ置キ學校長之ヲ命ス但シ非常ノ際掛長駈付ケ得サルトキハ臨機在校職員上官ノ指揮ヲ受ケ其ノ任ニ當ルヘシ

職員及傭人ノ部署ハ別ニ之ヲ定ム

學生ノ部署ハ寄宿舍生ニ就キ別ニ之ヲ定ム通學生ハ學生課長又ハ教官ノ指揮ニ從ヒ臨機適當ノ部署ニ就クモノトス

前項職員傭人及學生ノ部署ハ非常ノ際臨機之ヲ變更スルコトアルヘシ

第廿三條　左ノ非常用具ハ各掛長ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ喞筒其ノ他ノ器類ハ時時之ヲ點檢試用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

一、喞筒　一、消火器

一、消火栓及同筒先　一、玄蕃桶

一、梯子　一、鳶口及刺股

一、鋸、掛矢及頭巾(刺子)　一、運搬用擔架ヅツク袋

一、高張提灯及非常用提灯　一、蠟燭及摺附木

第廿四條　消火器ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ

消火器ニハ藥品充塡ノ年月日及其ノ有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前藥品ノ充塡換ヲ爲スヘシ當該建物監守者及會計課員ハ時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第廿五條　職員學生及傭人ハ平素消火器ノ所在及使用法ヲ心得置キ非常ノ場合之ヲ有効ニ使用スル樣心掛クヘシ

每學期一回以上職員學生及傭人一同火災手配ノ演習ヲ爲スヘシ但シ警鐘ヲ打チ臨時演習ヲ行フコトアルヘシ

十三、外國人特別入學細則　(昭和二年三月三十一日制定)

第一條　文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ外國人ニシテ本校ノ教授ヲ受ケントスルモノアルトキハ設備上支障ナキ場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ノ志願者ハ其ノ學修セントスル學科目ヲ定メ入學願書履歷書修業學校長ノ修業證明書並ニ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書

細則

ヲ添ヘ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　志願者ノ學力ヲ試驗ニ依リ檢定スル必要アル場合ハ入學檢定料金五圓ヲ徵收ス

第四條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ休學又ハ退學セントスル者ハ入學出願ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ出願スヘシ

第五條　在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六條　本細則ニ定ナキモノハ總テ本校規則中選科生ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

第七條　朝鮮人及臺灣人ニシテ特別入學ヲ願出ツルモノアルトキハ當分ノ內本細則ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六職員

（就職順）

學校長

正四位勳三等　農學士　上原種美

教授

修身

（兼）學校長　上原種美

森林理水及砂防工學、森林測量學、森林利用學

正五位　林學博士　伊藤武夫

植物學及植物病理學、植物生理學

從五位勳六等　農學士　高橋隆道

英語、獨逸語、修身、教育學

從五位勳六等　文學士　岡言智

森林利用學、林產製造學、數學

陸軍歩兵少尉　從五位勳六等　林學士　關谷文彦

物理學、氣象學、數學

從五位勳六等　理學士　北川久五郎

林政學、財政學、法學通論、行政法大意、森林管理法、森林法規

從五位勳六等　林學士　法學士　川田繁治郎

農業機械學、農業工學、耕地整理論、測量學

陸軍歩兵少尉　從五位　農學士　河合隼人

職員

助教授

應用力學、材料及施工法、道路及橋梁	從五位 工學士 松田俊正
化學及分析、土壤學、纖物學、地質學	從五位 農學士 稻川次郎
森林經理學、造林學、林價算法及林業較利學	從五位 林學士 山本光政
農業經營學、農政學、植民政策、經濟學	正六位 農學士 中野清作
畜產學、家畜榮養論、獸醫學	正七位 農學士 中野誠一
園藝學、植物學	陸軍步兵少尉 正七位 農學士 藤村次郎
農業水利學、農業土木法規、農具論	正六位 農學士 千種虎正
作物學及育種學	正七位 農學士 植田宰輔
養蠶學、養蠶實習	正七位 篠田平三郎
動物學、昆蟲學、實驗遺傳學	從六位 農學博士 農學士 大町文衛

生徒主事補

森林工學、測樹學、測量實習、林學實習	勳八等 園藝得業士 進武雄
	從七位 勳八等 野知里慶助

森林保護學、森林植物學、林產製造實習、造林實習	陸軍步兵少尉 正八位 馬岡隆清
應用水利學、測量實習	工學得業士 近坂百一
原動機及揚水機、機械實習、數學、幾何畫	工學得業士 內海市次郎
農產製造學、化學、肥料學、農產製造實習	農藝化學得業士 長瀨重藏
數學、測量實習、應用力學	陸軍步兵少尉 正八位 農業土木學得業士 小山桂一
作物學、農場實習	農學得業士 近藤亮一
植民政策	陸軍步兵少尉 正八位 農學士 鄉原保

講師

體操	陸軍工兵少佐 正六位 勳五等 功五級 米倉嘉弼
滿洲國語、滿蒙事情	陸軍步兵少尉 正八位 村井舜造
獨逸語	文學士 加藤行信
農村副業	從六位 福井武治
實驗遺傳學	從五位 勳六等 農學博士 農學士 宇田一

職員

農學大意　正六位　橫川十二
肥料學、地質學　正五位勳五等農學博士農學士　恒藤規隆
都市計畫　都市計畫中央委員會技師正六位　工學士　石川榮耀
公民科　正五位勳四等法學士　木村正義
海外事業　南國產業株式會社取締役農學士　有村貫一
林政學、森林法規　東京帝國大學教授從四位勳三等林學博士林學士　薗部一郎
農業機械學　九州帝國大學助教授正六位農學士　森周六

庶務課

課長　敎授　篠田平三郎
書記　書記　小野春次
書記　囑託　伊藤良藏
書記　雇　丸川倫
物品會計官吏、出納官吏　書記　山田與藏

會計課

課長　物品會計官吏、出納官吏　書記　藤原佐之吉
書記　書記　鈴木巧
（兼）書記　書記　清水敦
正七位　囑託　勳七等　池田松太郎
雇　勳七等　近藤米三郎
雇　勳七等　增井幸次郎
工手兼雇　的場久壽雄
雇　市川多喜男

教務課

課長　敎授　北川久五郎
囑託　渡邊健吾
雇　山川忠雄

職員

職員

學生課

課長　生徒主事　教授　岡　言智

生徒主事　教授　中野清作

生徒主事補　助教授　進　武雄

舍監　助教授　內海市次郎

舍監　助教授　野知里慶助

舍監　助教授　近藤亮一

舍監　講師　米倉嘉弼

舍監　囑託　田中宗三郎

舍監　囑託　重倉龜太郎

圖書課

課長　教授　川田繁治郎

書記　勳七等　藤枝儁一

雇　牧戶寬一

學科主事、農場長、演習林長

農學科主事　教授　高橋隆道

農業土木學科主事　教授　河合隼人

林學科主事　教授　伊藤武夫

農場長　教授　高橋隆道

演習林長　教授　伊藤武夫

囑託

體操　陸軍步兵特務曹長　勳七等　田中宗三郎

劍道教師　近藤信勝

柔道教師　山中良一

體操　齋　辰雄

弓道教師　市川博

職員

職員

配屬將校

陸軍歩兵中佐 從五位勳四等 黒田彦二

教練

校醫

從六位 小芝一雄

醫學博士醫學士 小川安太郎

醫學博士醫學士 菅野大作

助手

農場勤務 清水敦

農學科勤務 工藤仙次

化學教室勤務 内藤秀男

農學科勤務 增地良秋

同 矢頭献一

林學科勤務 山川正郎

農學科及氣象觀測勤務 原野光夫

林學科勤務 石田勝生

農學科勤務 大柿護

同 安田隆一

農業土木學科勤務 丸尾恵一

物理學教室勤務 石田忠治

林學科勤務 八藤松男

同 西村敏雄

農業土木學科勤務 岩田清秀

農學科勤務 山中歳一

同 原信彦

農業土木學科勤務 山内務

工手

農業土木學科勤務 吉田茂三郎

職員

學生

第七學生

昭和八年十二月一日現在

一、學生氏名（五十音順）

農學科第三學年

今本眞澄（奈良）　岩淵恭治（岩手）　位田藤久太郎（三重）　井草卓郎（埼玉）
井上秀一（鳥取）　有藤秀夫（兵庫）　小川耕（德島）　小國鶴一（兵庫）
金原一吉（長野）　金德謙（朝鮮）　黒田茂（大阪）　小出富男（福岡）
小西尙雄（兵庫）　小牧次郎（神奈川）　西郷三郎（大分）　櫻井吉士（長野）
柴田直（熊本）　下田理作（熊本）　橘輝明（愛媛）　寺田錦一（兵庫）
中岡弘（三重）　中野嘉郎（三重）　中村恭吉（福岡）　仲森秀夫（三重）
野田直路（福岡）　野村美次（京都）　濱田逸郎（三重）　濱田武（埼玉）
濱田稔（三重）　平井益藏（奈良）　藤原進（大分）　藤原俊郎（三重）
本間正歲（新潟）　前野正二（兵庫）　益川孝夫（三重）　松井勇（山形）
森垣侃（京都）　森本行雄（兵庫）　屋嘉宗顯（沖繩）　山田豊美（香川）
吉江敏郎（東京）　脇田俊光（愛知）　分部正（三重）

農學科第二學年

伊藤卓男（三重）　岩本菊藏（三重）　飯倉行雄（大分）　宇美彌助（福岡）
小野亨（三重）　岡本富夫（奈良）　大坪正（兵庫）　加藤良男（愛知）
桂貫（山口）　神谷勇（京都）　刈谷嘉雄（高知）　木村壽郎（愛知）
北川越（三重）　清久正夫（德島）　金倚燮（朝鮮）　郡司正造（福島）
駒井四郎（兵庫）　近藤易直（長崎）　佐藤一二（秋田）　齋竹孝一（愛知）
猿渡工（熊本）　三高正己（靜岡）　白木敏幸（福岡）　十龜千鵬雄（愛媛）
田中勇（京都）　田中壹郎（大阪）　田中米夫（三重）　高松正雄（福岡）
西田公保（熊本）　野口新吉（岐阜）　日向導德（山梨）　東繁一（三重）
藤畑孝正（富山）　丸山正秋（長野）　村上美好（福岡）　村田重一（愛知）
毛利嘉治（三重）　本村順藏（福岡）　山田信義（愛知）　吉村英吾（東京）
脇田晴美（愛知）

農學科第一學年

安宅慶治（德島）　秋田重男（滋賀）　朝比奈佐武郎（神奈川）　蘆田肇（京都）
井岸徹（熊本）　井村晴二郎（三重）　上村武吉（岡山）　小野章（山梨）

學生

學生

岡本　和之（愛　知）　落合　幸文（三　重）　太田　俊晴（長　野）　大柴　保信（山　梨）
大島　　仁（愛　知）　大谷　正宣（大　阪）　大谷　宗三（奈　良）　河合　幸雄（岡　山）
川上　久也（三　重）　川高　重武（京　都）　喜多見　辰夫（大　阪）　小林　一夫（兵　庫）
小林　隆一（新　潟）　近藤　鶴彦（三　重）　佐井　　清（高　知）　佐々木　尚美（岩　手）
阪本　卓男（熊　本）　竹村　弘二（京　都）　塚原　順三（岐　阜）　中上　　登（奈　良）
中島　志朗（熊　本）　西川　三次（京　都）　野村　本義（長　野）　林　政衛（群　馬）
平野　　廣（靜　岡）　本多　九三（奈　良）　松井　近信（島　根）　松本　隆治（靜　岡）
前田　豊司（大　分）　水田　四郎（廣　島）　森崎　大助（大　分）　八尋　　眞（福　岡）
山崎彌右衛門（靜　岡）　若山　虔三（廣　島）

農業土木學科第三學年

綾田　耕太郎（香　川）　伊藤　芳夫（岐　阜）　伊藤　美之（三　重）　海老名　慶一（靜　岡）
小澤　二郎（岐　阜）　落合　　博（三　重）　川井　　宏（靜　岡）　久保田　　章（福　島）
小泉　富治（長　野）　坂口　貞吉（長　崎）　坂本　多喜男（佐　賀）　佐々木　令藏（秋　田）
島地　與一（三　重）　下井　重三郎（三　重）　鈴木　新平（靜　岡）　鈴木　敏雄（靜　岡）
高津　　明（愛　知）　田中　善喜（福　岡）　戸村　　守（栃　木）　中西　中雄（京　都）
中根　逸夫（三　重）　中村　茂男（鹿兒島）　西口　一雄（大　阪）　西田　四郎（三　重）

野間　市郎（愛　媛）　長谷　川次雄（群　馬）　東　　次夫（熊　本）　藤田　幸作（香　川）
藤本　繼男（熊　本）　古　　正夫（三　重）　堀部　　勇（岐　阜）　前田　一男（兵　庫）
前田　盛雄（鹿兒島）　正木　義夫（兵　庫）　松原　義雄（岐　阜）　松本　彦吉（秋　田）
毛利　博愛（福　岡）　柳澤　榮助（長　野）　矢野　　進（宮　崎）　山崎　安郎（三　重）
山下　　茂（靜　岡）　余語　伊三郎（愛　知）　吉井　勘一（滋　賀）

農業土木學科第二學年

安藤　重郎（群　馬）　井手　明德（熊　本）　伊藤　士郎（福　井）　石川　丙午郎（茨　城）
石田　英二（福　岡）　岩戸　太郎（廣　島）　宇野　亮夫（福　岡）　越智　鵬一（愛　媛）
岡村　武郎（三　重）　奥山　俊介（三　重）　大井　守義（三　重）　河合　　保（岐　阜）
角田　敬之進（福　岡）　勝野　靜男（三　重）　角前　冕（三　重）　兼本　六二（廣　島）
川崎　祐宏（大　阪）　窪田　　博（奈　良）　佐々田　仙（廣　島）　澤田　重雄（大　阪）
鹽見　辰治（山　口）　白井　正義（三　重）　白倉　省吾（山　梨）　高橋　敏郎（靜　岡）
給田　光義（京　都）　園野　新次郎（福　岡）　出村　友晴（富　山）　波多野修一郎（岡　山）
萩原　健一郎（兵　庫）　東　　武（福　井）　福澤　重信（富　山）　又木　武兵衛（鹿兒島）
三室　不二夫（三　重）　水町　　進（福　岡）　森田　省三（三　重）　山崎　仁夫（三　重）
山田　信一（靜　岡）　横田　柏男（岡　山）　横田　　敏（愛　知）　渡邊　榮藏（秋　田）

學生

學生

農業土木學科第一學年

青山　清（三重）　梅原　雄一（靜岡）
大井　公夫（長野）　加藤　豐（福島）
川島　武三（三重）　川端　俊夫（北海道）
草崎　弘（佐賀）　櫛谷　義四郎（三重）
佐々木　直之（福岡）　齋藤　爲治（京都）
清家　初一（大分）　田邊　幸信（香川）
中西　光彦（三重）　中村　逸雄（熊本）
橋口　弘（宮崎）　花田　邇（福岡）
福本　純（三重）　眞鍋　惠三（香川）
村上　新雄（京都）　山路　徹（愛媛）
小笠原　忠實（島根）　小原　清次（石川）
笠井　利夫（三重）　金井　禧三（長野）
川邊　環（三重）　久能　喜祿（靜岡）
紅林　桂次（靜岡）　近藤　茂男（愛知）
坂部　隆治（靜岡）　杉原　茂（富山）
中尾　藤九郎（滋賀）　中田　昌卯（埼玉）
西澤　英夫（新潟）　西田　五郎（三重）
林　銀司（富山）　福田　儀三郎（大阪）
前田　弘（三重）　三井　清夫（三重）
山中　勇（三重）　山中　寅吉（三重）

林學科第三學年

赤田　長正（香川）　阿部　喜美治（山形）
岩間　孝一（三重）　上野　經彦（鹿兒島）
大田垣　正三（兵庫）　大仲　保（愛媛）
池田　三一（靜岡）　市川　守信（高知）
岡本　利文（兵庫）　大上　利宏（大分）
大森　三孝（福井）　梶原　高雄（熊本）

加藤　喜久（福岡）　川岸　修（奈良）
近藤　學（福岡）　佐方　久敏（熊本）
菅沼　謙逸（愛知）　武市　正春（福岡）
野田　晴男（島根）　野中　忠美（愛媛）
廣部　正二（三重）　古川　生夫（熊本）
松岡　了三（福岡）　松本　繁平（靜岡）
宮本　毅（熊本）　明慶　三郎（三重）
河津　久伍（熊本）　小寺　博文（大分）
佐藤　滿（熊本）　下川　忠藏（福岡）
竹内　久米雄（三重）　中澤　高司（靜岡）
檜山　慶三郎（三重）　平山　貞（大分）
古川　壽（岡山）　町田　榮二（埼玉）
三木田　武三郎（大阪）　水谷　信夫（三重）
森本　智二郎（兵庫）　米川　千秋（三重）
礒野　英一（兵庫）

林學科第二學年

淺野　一正（三重）　伊藤　耕之助（佐賀）
稻田　正彦（三重）　上野　亟市（三重）
岡野　美喜男（三重）　大内　賢一（岡山）
佐藤　信雄（山形）　杉本　正郎（三重）
田川　恒夫（三重）　田村　甲二（岡山）
谷口　樹男（廣島）　谷　敏夫（奈良）
長井　實博（鹿兒島）　中込　登（山梨）
宮口　茂次（福井）　宮本　弘（愛知）
小河　吉春（福岡）
佐久間　虎夫（三重）
關口　一郎（埼玉）
武政　健亮（高知）
辻　種藏（滋賀）
牧野　新太郎（滋賀）
柳澤　聰雄（兵庫）
池内　悅雄（愛媛）
上本　英一（三重）
北村　智（長崎）
鈴木　英勇（靜岡）
高垣　左藤（和歌山）
塚本　泰三（兵庫）
林　秀茂（奈良）
村田　喜一（熊本）

學生

學生

山田孝俊（石川）　吉田末雄（福岡）

林學科第一學年

石橋正夫（三重）　稻垣禮一（三重）
可部重丈（島根）　甲藤眞道（高知）
金鵬奭（朝鮮）　小林茂（岡山）
今文平（青森）　今野弘一（宮城）
城山正彦（三重）　田中忠夫（長野）
高橋正夫（島根）　武居岳夫（長野）
豊福義孝（福岡）　長尾万二（德島）
野崎一夫（高知）　平野義一（滋賀）
古川不倒（福岡）　堀内信男（長野）
三好茂（岐阜）　宮田辰男（長野）
山田鐵次郎（岐阜）　若林猛（三重）

農學科選科

黒瀬大二郎（三重）　和田秀雄（神奈川）　渡邊正元（京都）
大島正男（滋賀）　大島民也（愛知）
金田三郎（富山）　鴨下正夫（北海道）
古林牧夫（福岡）　小山貞信（奈良）
齋藤仙太郎（德島）　芝弘（三重）
田中璞（兵庫）　高橋隆（三重）
土肥四郎（富山）　土肥恒成（富山）
行方實（三重）　西内弘至（高知）
福島一（三重）　藤原福次（岡山）
巻田源久（石川）　御幸尾博（千葉）
山際俊郎（三重）　山口市治（長崎）

農業土木學科選科

宮田正次（愛媛）

林學科選科

沖田万年（兵庫）

二、學生數

學科	本科生 第一學年	第二學年	第三學年	計	選科生	研究生	合計
農學科	四二	四一	四三	一二六	一		一二七
農業土木學科	四〇	四〇	四三	一二三	一		一二四
林學科	四二	三六	四〇	一一八	一		一一九
總計	一二四	一一七	一二六	三六七	三		三七〇

三、地方別學生數

學生

地方＼學科	本科生					選科生	合計
	農學科	農業土木學科	林學科	計			
北海道		一	一	二			二
青森			一	一			一
岩手	二			二			二
宮城			一	一			一
秋田	一	三		四			四
山形	一		二	三			三
福島	一	二		三			三
茨城		一		一			一
栃木		一		一			一
群馬	一	二		三			三
埼玉	二	一	二	五			五
千葉			一	一			一
東京	二			二			二
神奈川	二	一	一	三			三
新潟	二	一		三			三
富山	一	四	三	八			八
石川		一	二	三			三
福井		二	二	四			四
山梨	三	一	一	五			五
長野	五	四	四	一三			一三
岐阜	二	五	二	九			九
静岡	五	一一	四	二〇			二〇
愛知	九	四	三	一六		一	一七
三重	二〇	二九	二四	七三			七四
京都	八	四					
滋賀	一	二	四	七			七
大阪	四	三	一	八			八
兵庫	九	四	七	二〇	一		二一
奈良	六	一	四	一一			一一
和歌山			一	一			一
鳥取	一			一			一
島根	一	一	三	五			五
岡山	二	二	五	九			九
廣島	二	三	一	六			六
山口	一	一		二			二
德島	三		二	五			五
香川	一	四	一	六			六
愛媛	二	三	三	八	一		九
高知	二						
福岡	八	九	一〇	二七		三	三〇
佐賀		二	一	三			三
長崎	一	一	三	五			五
熊本	七	四	七	一八			一八
大分	五	一	三	九			九
宮崎		二		二			二
鹿兒島		三	二	五			五
沖繩	一			一			一
朝鮮	二		一	三			三
總計	一二六	一二三	一八三	三六七	三	三	三七〇

第八　卒業生

一、卒業者氏名及業務

（昭和八年十二月一日現在）

（五十音順）

農學科第一回　二十八名

▲大正十四年三月卒業

足立	俊正（愛	知）自營
井出	高義（靜	岡）朝鮮平安北道視學
渡邊（舊岩名）	孝太（新	潟）朝鮮總督府農林局農產課技手
大柿	護（北海道）	三重高等農林學校助手
大塚	俊司（靜	岡）三重縣立名賀農學校教諭
奥井英太郎（舊折谷）	（三	重）三重縣立田丸女子實業學校教諭
大河内陽雄	（三	重）新潟縣立糸魚川中學校教諭
桑垣	傳護（千	葉）千葉縣立東金高等女學校教諭
小林	梧郎（新	潟）新潟縣農產課技手
齋藤	武夫（山	形）三重縣立松阪商業學校教諭
眞永	三郎（山	口）南米「ブラジル」ニ於テ自營
志村	浩一（埼	玉）宮城縣立加美農蠶學校教諭
鈴木	橋雄（三	重）京都帝國大學農學部植物病理學教室囑託
鈴木	貳次（新	潟）千葉縣立多古農學校教諭
宗宮	祐夫（岐	阜）日光東照宮主典
熊谷（舊中西）	三郎（京	都）農林省京城米穀事務所囑託
中森	作雄（三	重）岡山地方專賣局技手
野呂	貞好（三	重）三重縣立宇治山田中學校教員
羽生	節（鹿兒島）	三重縣立河原田農學校教諭

平山	重勝（愛	知）東京市荏原町德川生物研究所々員
深川	景吉（滋	賀）南米「ブラジル」ニ於テ自營
堀田	耕太（三	重）水戸地方專賣局水戸試驗場技手
堀（舊正木）	五一（三	重）石川縣立農事試驗場技手
木村	郁三（大	阪）自營
松浦	幸也（三	重）三重縣農會技手
水越	弘（三	重）自營
村田	三郎（山	口）茨城縣立石岡農學校教諭
山本辰次郎（石	川）農林省農務局農產課技手	

農學科第二回　三十五名

▲大正十五年三月卒業

出射	正次（山	梨）臺灣嘉南大圳組合員
井上	善光（奈	良）奈良縣立添上農學校教諭
上田	勇（大	阪）大阪府農會
岡垣內	匠（和歌山）	愛知縣瀧實業學校教諭
小川	亮一（栃	木）（死亡）
荻野	周次（兵	庫）山口縣農林技師
奥井亮三郎（三	重）三重縣名賀郡農會技手	
小田	志郎（三	重）三重縣立四日市商業學校教諭
菊池	金治（岩	手）朝鮮大邱慶尙北道慶山郡廳技手
菊池	武夫（岩	手）大阪府立生野中學校教諭
中津川俊吉（舊黑田）	（靜	岡）高知縣立農事試驗場技手
澤川	繁（山	形）岩手縣農務課技手
島貫	三郎（山	形）山形縣農會技手
相馬	世治（京	都）名古屋東邦瓦斯株式會社々員
高木	秀一（宮	崎）自營

卒業生

田中　松夫（岐　阜）愛媛縣立伊豫實業學校教諭
寺林傳太郎（富　山）農林省農務局副業課囑託
富永　重興（三　重）兵庫縣多可郡黑田庄村大志農業公民學校教諭
中村　龍樹（福　岡）熊本地方專賣局高千穗出張所技手
沼田　滿（茨　城）名古屋地方專賣局見付出張所技手
野澤　磊爾（愛　知）滋賀縣立今津中學校教諭
馬場　四郎（福　島）青森縣農務課技手
長谷川　德（愛　知）靜岡縣立沼津農學校教諭
濱田　朝祐（埼　玉）自營
平沼　延一（東　京）京都帝國大學農學部助手
松本　直一（滋　賀）東京府農林課技手

農學科第三回

二十九名

▲昭和二年三月卒業

淺井　晃（東　京）廣島縣立農事試驗場技手
前野　軍太（三　重）自營
池田（齊峰）長藏（和歌山）自營
森井　儀一（三　重）三重縣立木本高等女學校教諭
森本　庫一（兵　庫）茨城縣友部日本國民高等學校
森本　修三（愛　知）大阪市役所土木部計畫課
山口　明（宮　崎）茨城縣友部日本國民高等學校
山崎　賢一（和歌山）和歌山縣立伊都中學校教諭
山田　駒雄（山　梨）山梨英和女學校教諭

▲大正十五年六月卒業

佐野　淡一（兵　庫）自營

二十九名

石淵　壽（熊　本）農林省經濟更生部產業組合課技手
一色　一雄（滋　賀）滋賀縣立農事試驗場技手

伊藤　六郎（愛　知）北海道廳拓殖部植民課技手
井原　稔（和歌山）農林省米穀部調查課囑託
伊元貞三郎（島　根）兵庫縣穀物檢查所技手
岩田　玉一（岐　阜）自營
岡村庄一郎（兵　庫）兵庫縣川邊郡農會技手
大林　廣次（靜　岡）朝鮮大邱專賣支局河東出張所技手
工藤醇一郎（青　森）山梨縣立實業教員養成所主事
後藤　智（大　分）秋田縣穀物檢查所技手
近藤　亮一（愛　媛）三重高等農林學校助教授
佐藤須賀夫（大　分）德島縣立麻植中學校教諭
杉山猶之助（三　重）長崎縣立農事試驗技師
須永　達雄（栃　木）大阪野村合名會社海外事業部社員（ブラジル在勤）
田中　稔（山　形）秋田縣立農事試驗場技手
谷畑　喜作（富　山）石川縣立羽咋中學校教諭

卒業生

玉置　海三（和歌山）南米「ブラジル」ニ於テ自營
柘植　利久（三　重）京都帝國大學農學部助手
鳥羽　篤郎（三　重）三重縣立宇治山田高等女學校教諭
中川　勝八（愛　知）宮崎縣農事試驗場技手
長山　敎一（高　知）高知縣弘岡實業公民學校教諭
野崎　清夫（岡　山）兵庫縣川邊郡伊丹町農業實習學校教諭
長谷川千秋（愛　知）自營
春名　一明（兵　庫）兵庫縣立姬路中學校教諭
藤岡　喜久（奈　良）農林省畜產局畜產課技手
米田　健吉（兵　庫）石川縣農會技手

▲昭和二年五月卒業

澁井　健一（福　島）大分縣立杵築中學校教諭
大塚　耕二（三　重）自營

▲昭和三年三月卒業

足立　昇造（三　重）岡山市關西中學校教諭
五百井　亨（大　阪）農林省京城米穀事務所囑託
大橋　友二（富　山）埼玉縣農務課技手
（舊大熊）三浦　忠二（岡　山）千葉縣立農事試驗場技手
大西　保英（愛　媛）和歌山縣農會技手
川島　治幸（大　阪）自營
川島　三美（三　重）農林省畜產局畜產課技手
（舊木村）北川　虎雄（和歌山）廣島縣立三次高等女學校教諭
久保　常三（奈　良）大阪市北田邊町桃山中學校教諭
小林　勝治（兵　庫）富山縣農林課技手（水見郡駐在）
小林　龍雄（長　野）岡山縣立林野高等女學校教諭
信部　初男（兵　庫）自營
清水　幹雄（山　口）自營
杉谷　文之（富　山）農林省農事試驗場九州小麥試驗地
田曾　純吾（廣　島）香川縣立三豐農業學校教諭
（舊田中）四方田芳市（島　根）京都府立農事試驗場技手
西端　善作（大　阪）大阪府立農事試驗場技手
八田　植（滋　賀）自營
服部　仙三（愛　知）自營
樋田　節雄（大　分）三重縣立河原田農學校教諭
深井　寬（三　重）愛知縣農林主事補
藤田　正雄（廣　島）廣島縣農務課技手（深安郡深田村駐在）
三上福之助（埼　玉）鳥取縣立農事試驗場技手
柳瀨　義衛（高　知）愛知縣立蒲郡農學校教諭
山內　勇信（福　島）福井縣立種畜場技手

山本　忠夫（神奈川）岡山縣井原高等女學校教諭

▲昭和四年三月卒業

（舊伊東）福林　馨（三　重）三重縣立農事試驗場技手
井上　一巳（和歌山）栃木縣農務課技手
井野周太郎（京　都）京都府竹野郡鄉村技手
井樋　信雄（佐　賀）滋賀縣立農事試驗場技手
內山　榮（兵　庫）自營
大河內恒夫（愛　知）宮城縣穀物檢查所白石派出所技手
大城　清茂（沖　繩）宮城縣穀物檢查所築館派出所技手
岡本　勇（奈　良）自營
岡谷　義雄（愛　知）朝鮮大邱公立高等普通學校教諭
加藤　平壽（愛　知）自營

卒業生

北村繁太郎（滋　賀）滋賀縣立栗太農學校教諭
桑原　正三（愛　知）自營
木檜　忠夫（群　馬）自營
小西　眞（奈　良）京都府下夜久野實業補習學校教諭
笹岡　一郎（奈　良）奈良縣立農事試驗場技手
佐藤　甚七（岐　阜）臺灣臺南州新營郡明治製糖山坎子頭農場
下井　友一（三　重）京都府農林蠶糸課技手
鈴木　徹三（愛　知）愛知縣農務課技手
（舊田中）加藤　助參（福　井）農林省畜產局畜產課囑託
土井　孫悅（山　形）朝鮮忠淸南道公州公立農業學校教諭
西間木正巳（福　島）滋賀縣立虎姬中學校教諭

▲昭和三年五月卒業

北川孝治郎（京　都）京都市農會技手

野上富士夫（京　都）北海道廳立農事試驗場
信宗　虎夫（廣　島）熊本縣穀物檢查所下益城郡支所技手
野村　千秋（長　野）長野縣農會技手
廣瀨　清孝（石　川）石川縣立松任高等女學校教諭
藤繩　慶夫（富　山）富山縣立上市農學校教諭
南元　楢司（奈　良）奈良縣立農事試驗場助手

農學科第六回　三十九名

▲昭和五年三月卒業

阿部　一美（福　岡）朝鮮江原道春川農業學校教諭
磯部　次郎（神奈川）朝鮮大邱高等普通學校教諭
一色　重夫（滋　賀）岡山縣倉敷市大原農業研究所々員
今井　忠（新　潟）山形縣穀物檢查所置賜支所技手
今西　清（京　都）兵庫縣西宮市立高等女學校教諭
大河內秀樹（愛　知）九州帝國大學農學部學生
奥野　貞雄（京　都）京都府與謝郡養老村技手
柏　祐賢（富　山）農林省農務局農政課囑託
金井　修（兵　庫）自營
龜井　昌直（三　重）三重縣經濟更生課技手
河村　有江（廣　島）北海道農產物檢查所釧路支所技手
楠　恆三（靜　岡）仙臺地方專賣局囑託
栗林　武男（茨　城）兵庫縣出石郡神美村小野農業公民學校教諭

小池　保（岐　阜）岐阜縣惠那郡加子母村技手
垣本（舊米本）元信（三　重）奈良縣立磯城農學校教諭
後藤　俊夫（愛　知）三重縣立實業教員養成所講師
齋藤　修三（岐　阜）自營
齋藤八十藏（三　重）三重縣立蠶糸學校教諭
四方　恒次（大　阪）東京市本所區石原町二丁目寺尾牛乳店
白水　透（宮　崎）熊本縣穀物檢查所
關澤　乙吉（新　潟）農林省青森種鷄場助手
高木　保郎（岐　阜）朝鮮江原道鉄原郡東松面不二農場
田中　敏郎（三　重）三重縣農會技術員
中川　春一（群　馬）三重縣立農事試驗場技手
中島　清見（長　野）長野縣上水內農學校教諭
中谷　壽（兵　庫）兵庫縣農事試驗場助手
中森　孝治（三　重）三重縣立尾鷲高等女學校教諭
長岡忠二郎（大　阪）橫濱市神奈川區平沼町坂田商會
永田　盛一（兵　庫）高知縣立農事試驗場技手
練尾　一雄（岡　山）名古屋地方專賣局囑託
服部　一郎（愛　知）三重縣立木本中學校教諭
日野　重三（愛　媛）愛媛縣立農事試驗場助手
平城　俊文（福　岡）福岡縣立農事試驗場筑後分場助手
松田　祐一（沖　繩）和歌山縣立農事試驗場技手
村田　茂三（三　重）自營
森本　重德（大　阪）富民協會（大阪府堺市）
山本善次郎（大　阪）朝鮮總督府穀物檢查所釜山支所
吉田　彥太（佐　賀）朝鮮京畿道穀物叺檢查所

▲昭和五年五月卒業

木村泰次郎（靜　岡）富民協會（大阪府堺市）

農學科第七回　三十九名

▲昭和六年三月卒業

阿部　三郎（德　島）德島縣立海部中學校教諭
荒井　進（福　井）特許辨理士（東京市京橋區木挽町四ノ三泰聖ビル）
飯森　政義（石　川）北海道農產物檢查所
井上　石衛（長　崎）長崎縣南高來郡加津佐高等國民學校教諭
岩田　明（三　重）千葉縣農林技手（山武郡農會勤務）
岩田　茂（三　重）農林省米穀課門司米穀事務所雇
岩中　信市（三　重）熊本縣立御船中學校教諭
海野　九郎（三　重）三重縣立農事試驗場助手
加藤　寛（三　重）自營
木下　英雄（愛　知）岡山縣上道郡角山村上道國民學校教諭
熊谷　又吉（長　野）埼玉縣農林技手
小林　茂（愛　知）入營
小林　幸丸（三　重）三重縣立四日市高等女學校教諭
小堀（舊小山）英治（福　岡）九州帝國大學農學部助手
堀　美則（大　分）大分縣立三重農學校教諭
近藤　四郎（京　都）臺灣新竹州苗栗郡公館農業專修學校教諭
阪中　憲一（和歌山）和歌山縣伊都郡山田公民學校
清水　武夫（三　重）三重縣立實業教員養成所講師
杉浦　資眞（愛　知）自營
砂川　尙一（兵　庫）兵庫縣農事試驗場助手
諏訪　三郎（岐　阜）滋賀縣農務課技手
田中　收治（愛　知）愛知縣農產物檢查所技手
田中　昇三（東　京）靜岡縣穀物檢查所沼津出張所技手
田村　十治（山　口）島根縣農務課技手
辻　藤次郎（三　重）茨城縣立農事試驗場技手
富野　耕治（愛　知）三重縣立實業教員養成所教諭
中津　繁雄（岐　阜）滋賀縣農會技手
中根　喜猷（三　重）自營
永田　義雄（愛　知）自營
西野　半三（大　阪）大阪府都市計畫課
西村　清一（京　都）京都府南桑田郡農會技手
長谷川　武（愛　知）九州帝國大學農學部學生

農學科第八回　三十九名

▲昭和七年三月卒業

有門　博樹（福　岡）臺灣總督府糖業試驗所技手
有田　昌璋（鳥　取）大阪府立豐中中學校教諭
井上清次郎（佐　賀）佐賀縣穀物檢查所小城支所技手
大藪　大（福　岡）（死亡）
岡田　行生（三　重）三重縣南牟婁郡新鹿村農會技手
卒業生
松原　喬夫（島　根）青森縣農產物檢查所青森支所技手
眞鍋　藏六（山　口）宮崎縣宮崎郡赤江町磯村合名會社赤江農場
港井清七郎（京　都）京都府立京都農林學校教諭
村田　武夫（三　重）三重縣立農事試驗場原種圃南勢分場技手
森田　安雄（富　山）第二拓殖訓練所講師
柳　彰三（三　重）奈良縣立業業試驗場技手
安田　隆一（山　口）三重高等農林學校助手

三十九名

岡本　敏一（岡　山）自營
尾山　万代（三　重）關東廳農事試驗場技手
薩山　武雄（兵　庫）岡山縣立農事試驗場技手
笠井　由一（德　島）高崎地方專賣局鑑定課囑託
片山　晴（愛　知）自營
菊池　和雄（愛　媛）京都府立福知山中學校教諭

卒業生

熊代　清（大　阪）石川縣立農事試驗場
高本　秀政（愛　媛）滋賀縣立農事試驗場園藝部技手
小林　成夫（三　重）自營
小林　久夫（岡　山）朝鮮慶尙南道廳產業課技手
近藤球一郎（岡　山）自營
佐々木善次郎（秋田）宮城縣穀物檢查所石卷派出所技手
佐々木吉雄（石　川）石川縣立松任農學校教諭
澤田　義郎（愛　知）朝鮮平安北道廳農務課技手
高柳　庄市（靜　岡）香川縣立農事試驗場技手
田村　惇（廣　島）朝鮮慶尙南道咸安郡農會技手
辻　厚美（福　岡）關東廳農事試驗場技手
內藤　惇一（岐　阜）愛知縣副業組合聯合會技手
萩原　敏郎（靜　岡）自營
秦　艮治（千　葉）千葉縣夷隅郡總野村農會技手
原　信彥（福　岡）三重高等農林學校助手
平島　龍茂（福　岡）自營
細野　英男（岐　阜）南滿洲鐵道株式會社々員
正木榮太郎（大　阪）京都帝國大學農學部學生
松岡　清治（三　重）愛知縣農產物檢查所呼續支所技手
前田　一（高　知）高知縣吾川郡弘岡下之村補習學校教諭
茂利　弘（三　重）京都帝國大學農學部學生
森　圭一（福　岡）三重縣名賀郡花垣村農業公民學校教諭
森　定治郎（愛　知）農林省農務局肥料課囑託
森　政雄（大　阪）農林省播磨種鷄場助手
山脇　一誠（大　阪）大阪府中河內郡農會技手
吉川利太郎（奈　良）農林省指定奈良小麥試驗地助手
芳野　修（愛　媛）三重縣立農事試驗場原種圃伊賀分場技手
若林　知貞（三　重）入營

▲昭和八年三月卒業
池田　親嘉（福　岡）入營
池田　哲彌（岡　山）岡山縣兒島郡甲浦實業補習學校教諭
井原　正郎（山　口）入營
飯田　清（三　重）朝鮮殖產銀行々員
今川　文雄（山　口）九州帝國大學農學部學生
岩崎　敬三（大　阪）大阪市農會技手
臼井　俊郎（岐　阜）京都帝國大學農學部學生
荻野　四郎（山　形）朝鮮總督府穀物檢查所木浦支所雇
加藤　榮一（愛　知）農林省農務局農產課雇
河原　松實（福　岡）九州帝國大學農學部植物病理學教室雇
岸　信夫（兵　庫）農林省肥後種鷄場助手
岸村　彌七（三　重）宮城縣農產物檢查所小牛田派出所囑託
小山喜三郎（京　都）農林省米穀部調查課雇
崔　洪奎（朝　鮮）朝鮮總督府農林局農務課囑託
齋藤　大藏（山　形）岩手縣農務課技手
榊　修（福　岡）自營
實森又太郎（靜　岡）帝國農會大阪販賣斡旋所囑託
庄野　勝（福　岡）三重高等農林學校助手
城間　盛茂（沖　繩）沖繩縣立農事試驗場西原試驗地助手
鈴木　一郎（三　重）自營
田中　正雄（鳥　取）京都帝國大學農學部學生
出口　武（三　重）奈良縣農產品檢查所雇
出坂　一衛（石　川）愛知縣惟信中學校助手
戶上　正（三　重）山梨縣農商課小作官補
仲野　信太（靜　岡）朝鮮總督府穀物檢查所雇

卒業生

卒業生

西川　義敏（長　崎）農林省岡崎種鷄場助手
島中　武彦（鹿兒島）山梨縣西八代郡農會技手
東　勇（和歌山）朝鮮水原農事試驗場助手
平井　守久（愛　知）愛知縣農產物檢查所岩倉派出所技手
松崎　實男（長　野）長野縣立農事試驗場助手

農業土木學科第一回

▲大正十四年三月卒業

岩本　益雄（愛　媛）山口縣立萩中學校教諭
遠藤　靖（宮　城）岩手縣土木課技手
奥田　壽夫（三　重）石川縣耕地課技手
川合　久三（滋　賀）東洋拓殖株式會社釜山支店社員
川勝　洋三（京　都）神奈川縣立相原農蠶學校教諭
刑部　精一（三　重）（死亡）
古賀　菊次（山　口）靜岡縣立靜岡農學校教諭

二十八名

萬谷　俊美（廣　島）自營
向　勇夫（鹿兒島）鹿兒島縣大島支廳農林技手
森泉　元重（長　野）農林省經濟更生部總務課雇
柳（舊吉田）直幸（福　岡）農林省米穀部調查課雇
松浦　伍市（福　岡）九州帝國大學農學部農業經營學教室雇
小山　操雄（兵　庫）千葉縣立旭農學校教諭
酒井鉦一郎（愛　知）自營
清水　武雄（香　川）朝鮮慶尙北道農務課技手
鈴木　武臣（德　島）群馬縣立中條農學校教諭
高倉貫一郎（三　重）三重縣土木課技手
多賀　正三（滋　賀）朝鮮總督府農林局水利課技手
田上源八郎（三　重）茨城縣耕地課技手
田原　耕三（三　重）大阪府耕地整理課技手

齋　辰雄（德　島）常盤生命保險株式會社々員
中島　辰（愛　知）愛知縣耕地整理課技手
林　桂（岐　阜）長野縣耕地課技手
東川　美雄（三　重）靜岡縣立中泉農學校教諭
日比野文雄（愛　知）新潟縣耕地整理課技手
福家　雄一（香　川）（死亡）
牧野　潤二（山形）東洋拓殖株式會社々員

農業土木學科第二回

▲大正十五年三月卒業

田中　志郎（舊有吉）（福　岡）福岡縣立福岡農學校教諭
伊藤又右衛門（又一改名）（福　井）福井縣立坂井農學校教諭
境（舊岩下）次男（熊　本）熊本縣立球磨農業學校教諭
遠藤　征二（舊小川）（宮　城）宮城縣耕地整理課技手
尾崎　孝雄（愛　知）佐賀縣耕地課技手

卒業生

松尾　直三（三　重）三重縣土木課技手
松本　貞一（三　重）朝鮮全州農學校教諭
嶺　滿龜（福　岡）朝鮮忠淸北道產業課技手
森　嘉門（三　重）富山縣耕地課技師
安田　次貞（愛　知）福島縣立岩瀨農學校教諭
山田　長作（愛　知）名古屋市東區笠寺町港東土地區劃整理組合事務所技術員

二十八名

川口裏三郎（三　重）秋田縣耕地課技手
工藤　延雄（岐　阜）愛知縣都市計畫課技手
倉　小三郎（北海道）自營
齋藤　辰雄（愛　知）奈良縣耕地課技手
櫻井　實（宮　崎）朝鮮總督府農林局水利課技手
堤　喬司（兵　庫）福岡縣立田川中學校教諭

卒業生

（舊西村）關　正一（富　山）新潟縣耕地整理課技手
（舊橋都）伊澤　武二（長　野）朝鮮總督府農林局土地改良課技手
長谷　武雄（三　重）廣島縣農林課耕地係技手
（舊服部）內藤榮三郎（三　重）福島縣耕地課技手
濱本　良造（京　都）北海道廳十勝支廳技手
藤井　芳雄（山　口）大分縣立佐伯中學校教諭
藤村　忠雄（山　口）朝鮮總督府農林局土地改良課技手
古市　與一（三　重）滋賀縣耕地整理課技師
堀內　正利（福　岡）福岡縣耕地課技手
堀　美也雄（岐　阜）北海道廳後志支廳技手
森山　明（東　京）滿洲棉花協會

農業土木學科第三回

▲昭和二年三月卒業

稻垣　茂（三　重）自營
山崎　爲夫（愛　知）埼玉縣耕地課技手
若出　由夫（三　重）滋賀縣耕地課技手
渡邊　小太（三　重）（死亡）

▲大正十五年五月卒業

川本　貴雄（三　重）愛媛縣耕地課技手
星野　豐平（香　川）香川縣立木田農學校教諭

▲大正十五年七月卒業

加茂仁三郎（靜　岡）（死亡）

三十六名

上島　克己（三　重）宮城縣耕地整理課技手
槇本松三郎（東　京）北海道廳土地改良課技手

（舊織田村）田中　師郎（山　口）滋賀縣耕地課技手
大塚　清司（靜　岡）靜岡縣耕地課技手
大西　多一（德　島）農林省農務局耕地課技手
奧田　一郎（石　川）京都府峯山耕地整理出張所長
柏井　益水（高　知）香川縣耕地山林課技手
（舊川合）眞田　光夫（三　重）岐阜縣耕地課技手
北川　俊次（三　重）（死亡）
小山　桂一（愛　知）三重高等農林學校助教授
佐藤　紫郎（山　形）神奈川縣立平塚農學校教諭
（三男改名）芝田　敦雄（三　重）臺灣總督府土木課農業水利係技手
辻原　昌男（三　重）（死亡）
土井　利一（富　山）新潟縣耕地整理課技手
中田　政武（三　重）廣島縣土木課技手
中森　悌二（滋　賀）朝鮮慶尙南道土地改良課技手

卒業生

永原　實郎（三　重）臺灣臺南州大日本製糖株式會社々員
西田　吾一（岐　阜）秋田縣耕地課技手
西　正夫（三　重）愛知縣耕地整理課技手
早瀨　己之（石　川）兵庫縣耕地整理課技手
廣田延太郎（三　重）沖繩縣耕地課技手
福元　一二（鹿兒島）朝鮮殖產銀行々員
藤橋　九市（滋　賀）廣島縣農林課耕地係技手
松浦　圭三（大　阪）大阪府農務課耕地整理係技手
宮下　功（長　野）埼玉縣耕地課技手
森賀　年秋（愛　媛）熊本縣耕地課技手
山下鎌一郎（廣　島）（死亡）
橫山　重義（福　島）北海道廳網走支廳技手
芳山　久夫（愛　知）秋田縣耕地課
若林　鄕夫（三　重）朝鮮全羅北道農務課技手

卒業生

▲昭和二年四月卒業

阿部春太郎（三　重）三重縣土木課技手
石川　常雄（山　梨）山梨縣耕地課技手
仙波　漸（愛　媛）靜岡縣耕地課技手

農業土木學科第四回

▲昭和三年三月卒業

池田　誠常（石　川）埼玉縣耕地課技手
池田　義雄（靜　岡）朝鮮慶尙北道農務課技手
石田　光平（大　阪）大阪市役所土木部計畫課技手
岩崎（蕪伊隆）繁雄（三　重）愛知縣耕地課技手
海野　榮一（三　重）岐阜縣立安八農學校教諭
岡本　福三（石　川）秋田縣耕地課技手
岡本　義信（香　川）愛媛縣立西條農業學校教諭
大島　精一（北海道）秋田縣耕地課技手

藤本　和夫（三　重）滋賀縣農務課技手

▲昭和二年五月卒業

坂本　敏夫（三　重）自營

三十二名

大西　正康（高　知）高知縣耕地課技手
北村　壽男（三　重）自營
小島万之亟（福　島）岩手縣耕地整理課技手
小島　平雄（廣　島）神奈川縣耕地課技手
小宮山靜藏（山　梨）福岡縣耕地課技手
駒田　勝（三　重）群馬縣耕地課技手
佐倉　俊夫（三　重）農林省農務局耕地課技手
西口（蕪鹽野）末郎（三　重）神奈川縣耕地課技手
鈴木　正次（三　重）愛知縣耕地整理課技手

高宮　卯市（大　阪）大阪市役所土木部工務課技手
田中　重平（新　潟）福島縣會津農林學校教諭
土井　牧夫（長　崎）佐賀縣耕地課技手
豐田　榮一（三　重）熊本縣耕地課技手
西井　雅一（三　重）（死亡）
藤原　實（三　重）朝鮮忠淸北道產業課技手
增野　政雄（山　口）鹿兒島縣耕地課技手
松尾　武記（長　崎）朝鮮土地改良株式會社技手

農業土木學科第五回

▲昭和四年三月卒業

荒井　末造（岐　阜）岩手縣耕地整理課技手
荒木　甚一（三　重）三重縣耕地整理課技手
家木　忠信（三　重）山形縣耕地課技手
市川　康三（岐　阜）長野縣耕地課技手

卒業生

宮ヶ原　晉（鹿兒島）長崎縣立諫早農學校教諭
奥平（蕎安永）治郎（福　岡）福岡縣耕地課技手
山口　四郎（群　馬）宮城縣立栗原農學校教諭
山本義三郎（兵　庫）山梨縣耕地課技手
山本　棄男（三　重）秋田縣耕地課技手

▲昭和三年五月卒業

貝增　利雄（三　重）（死亡）
松村　寬（高　知）栃木縣耕地課技手

三十一名

伊藤　俊雄（福　岡）鹿兒島縣耕地課技手
岩崎　祐一（三　重）福島縣耕地課技手
內田　隆（兵　庫）自營
大庭　元則（靜　岡）靜岡縣立沼津農學校教諭
小河原　田（長　野）長野縣下高井農林學校教諭

卒業生

笠松　清（宮　城）京都府園部耕地整理出張所長
川口　幸村（三　重）熊本縣土木課技手
倉田　儀郎（三　重）廣島縣農林課耕地整理係技手
小島　盈（岐　阜）岐阜縣耕地課技手
佐野　鏗爾（三　重）臺灣總督府殖產局特產課技手
城野　橋雄（三　重）三重縣耕地整理課技手
大坊　吉則（岩　手）北海道廳上川支廳技手
高木　勝（北海道）佐賀縣耕地課技手
高崎　恒夫（三　重）農林省農務局耕地課雇
外岡　敏雄（靜　岡）青森縣耕地課技手
永井　儀夫（兵　庫）靜岡縣立藤枝農學校教諭
長濱　昌英（福　岡）朝鮮江原道春川農學校教諭

農業土木學科第六回　三十六名

▲昭和五年三月卒業

新　重吉（鹿兒島）大分縣耕地課技手
西山　清茂（三　重）大阪府農務課耕地整理係技手
日下　龜治（和歌山）滋賀縣農務課技手
前川德太郎（三　重）栃木縣耕地課技手
前田由之助（三　重）樺太廳農林部林務課技手
牧　錙之助（愛　知）宇治山田市土木課都市計畫係技手
松井　重雄（兵　庫）朝鮮土地改良株式會社々員
眞鍋　正行（香　川）朝鮮土地改良株式會社々員
水谷　尙（三　重）朝鮮總督府農林局水利課技手
山手　壽人（福　岡）朝鮮總督府農林局水利課技手

▲昭和四年四月卒業

森田宗二郎（三　重）德島縣農林課耕地整理係技手

卒業生

家木　忠恪（三　重）三重縣立河原田農學校教諭
石田　惣市（三　重）九州帝國大學農學部學生
磯部五兵衛（三　重）朝鮮咸鏡北道稅務課技手
伊藤　貞三（三　重）宇治山田市土木課技手
倉田（舊伊藤）博夫（三　重）三重縣耕地整理課技手
上杉　勇（三　重）和歌山縣農務課耕地整理係技手
內山　勇（三　重）（死亡）
大泉　磯右（三　重）朝鮮總督府農林局水利課
奥中武次郎（大　阪）大阪府農務課耕地整理係技手
中村（舊奥原）亮（長　野）長野縣耕地課技手
片岡　善龜（高　知）兵庫縣耕地整理課技手
西川（舊加藤）千太郎（三　重）四日市々役所土木課技手
成　泰亨（朝　鮮）朝鮮總督府農林局水利課
木原久次郎（京　都）京都府立木津農學校教諭
久保田一男（岐　阜）農林省農務局耕地課雇
倉田　一郎（三　重）神奈川縣耕地課技手
酒井　德江（長　野）長崎縣耕地課技手
篠崎　富男（埼　玉）埼玉縣耕地課技手
篠原　佑三（富　山）富山縣耕地課技手
島　明（富　山）富山縣耕地課技手
瀧本　一郎（兵　庫）熊本縣立鹿本農學校教諭
內藤　勇（愛　知）愛知縣耕地整理課技手
中尾　米一（大　分）滋賀縣立伊香農學校教諭
增田（舊中川）武男（三　重）三重縣勵精中學校教諭
萩森　豊（愛　媛）高知縣耕地課技手
橋本　勝（大　分）大分縣立高田高等女學校
福井　秀男（京　都）朝鮮土地改良株式會社々員
星野　義一（愛　知）愛知縣耕地整理課技手
三ッ野由太郎（北海道）樺太廳本斗支廳技手
山村十木生（三　重）岐阜縣耕地課技手

卒業生

八幡　卓（兵　庫）島根縣立直江農學校教諭
渡邊　亘（福　岡）岩手縣耕地整理課技手

▲昭和五年四月卒業

布谷　嘉明（三　重）三重縣土木課工手

農業土木學科第七回

三十六名

▲昭和六年三月卒業

荒川　清（愛　知）沖繩縣耕地課技手
石崎　勝也（三　重）兵庫縣耕地整理課技手
井田三津雄（三　重）長野縣耕地課技手
伊藤　俊夫（三　重）三重縣土木課工手
糸川　隆雄（三　重）朝鮮全羅南道古邑金融組合技術員
浦邊　眞雄（千　葉）朝鮮全羅北道土木課技手
大月　文雄（岡　山）岡山縣土木課技手
大西　四郎（三　重）（死亡）
（舊川北）
土保　賢（三　重）三重縣立名賀農學校教諭
河野　敬之（福　岡）千葉縣立山武農學校教諭
岸田　五郎（三　重）朝鮮黃海道延海水利組合技術部技手
小山　實（新　潟）（死亡）
坂口傳一郎（三　重）三重縣土木課技手
志田　房次（三　重）栃木縣耕地課技手
下川　一雄（三　重）朝鮮殖産銀行技術課々員
菅　英勳（岡　山）兵庫縣耕地整理課技手
鈴木　定吉（新　潟）朝鮮總督府農林局水利課技手

關口　元吉（群　馬）群馬縣耕地課技手
高嶋　武（三　重）鹿兒島縣耕地課技手
田上　正男（茨　城）入營
近石　義雄（香　川）福島縣耕地課技手
（舊都竹）生津　好雄（岐　阜）岐阜縣高山土木協會技手
出水千代義（香　川）（死亡）
戶田　正雄（富　山）大阪府農務課耕地整理係技手
中井　清（三　重）都市計畫三重地方委員會技手
行方　文吾（三　重）宮崎縣耕地課技手
根本　豊男（東　京）自營

農業土木學科第八回

四十名

▲昭和七年三月卒業

石井龜太郎（千　葉）茨城縣耕地課技手
石川　與一（三　重）入營

卒業生

岩崎　力（三　重）新潟縣耕地整理課技手
植田　勇一（香　川）德島縣農林課耕地係技手
太田　新勇（三　重）三重縣耕地整理課技手

服部　一男（奈　良）奈良縣耕地課技手
服部　進（三　重）熊本縣立農事試驗場技手
福野　松雄（滋　賀）沖繩縣耕地課技手
細川　庄平（香　川）香川縣耕地山林課技手
宮崎　佳久（三　重）熊本縣耕地課技手
柳井　貞二（廣　島）福岡縣耕地課技手
山岡　次郎（三　重）鳥取縣耕地課技手
渡邊　武（愛　媛）香川縣耕地山林課技手

▲昭和六年四月卒業

中島　亮（大　阪）大阪府耕地組合技術員

卒業生

金尾　修而（岡　山）入營
川崎　光郎（三　重）京都府農林蠶糸課耕地係囑託
木下　榮吉（三　重）千葉縣耕地課技手
久保　義生（三　重）入營
桑原　忠雄（靜　岡）靜岡縣耕地課技手
小寺　德夫（大　分）三重縣耕地整理課技手
佐藤　直（三　重）岡山縣立高松農學校教諭
城出　賢夫（三　重）朝鮮總督府農林局水利課囑託
田原　輝男（三　重）大阪府農務課耕地整理係技手
辻　亥輪男（大　阪）鳥取縣耕地課技手
中村　基一（兵　庫）兵庫縣土木課技手
中山　重治（富　山）入營
西井　俊三（三　重）九州帝大農業工學研究室助手
西村　亮一（三　重）三重縣耕地整理課技手
野呂　太郎（三重）入營
羽生　憲治（鹿兒島）愛媛縣耕地課技手
原　政一（三　重）福井縣耕地課技手
閔　泳甫（朝　鮮）朝鮮江原道土木課囑託
福井　重男（京　都）農林省耕地課雇
藤谷　朋貞（三　重）臺灣總督府土木課技手
牧戸市太郎（三　重）宮城縣耕地課囑託
桝田　和夫（愛　知）島根縣農務課耕地係囑託
松井　信雄（靜　岡）農林省耕地課雇
松田　高朝（鹿兒島）鹿兒島縣耕地課
松本　和郎（三　重）大阪府農務課耕地整理係囑託
村田　照雄（岐　阜）滋賀縣耕地課技手
目見田政次郎（愛媛）朝鮮慶尚南道廳產業課技手
森岡　米一（三　重）山口縣耕地課技手
安田　俊直（長　野）埼玉縣耕地課技手
吉田　實（岐　阜）農林省畜產局馬產課技手

米川　幹正（三　重）兵庫縣土木課囑託
渡邊　勝（三　重）栃木縣耕地課技手
▲昭和七年四月卒業
吉澤　進（福　井）自營

農業土木學科第九回

▲昭和八年三月卒業
赤堀　三郎（三　重）東亞勸業株式會社土木係行員
池上　武一（大　阪）大阪府楠根川用排水改良事務所囑託
石井　均（大　分）山口縣耕地課技手
石塚　金八（香　川）高知縣耕地課技手
稻垣　清利（三　重）沖繩縣耕地課技手
稻田　長德（三　重）岐阜縣耕地課技手
稻田五味三（福　岡）富山縣耕地課技手
岡崎　美景（高　知）高知縣立農業學校教諭

卒業生

▲昭和七年五月卒業
鐘ヶ江吉雄（佐　賀）熊本縣耕地課技手
蜂　鬼子男（三　重）山形縣耕地課技手

三十九名

笠原　太吉（福　島）山形縣耕地課技手
河野　富男（山　口）鹿兒島縣耕地課囑託
菅　親太（愛　媛）入營
菊岡　武男（三　重）農林省農務局耕地課雇
栗田　億一（靜　岡）臺灣總督府土木局水利課囑託
小菅　一夫（大　阪）臺灣臺中州八保圳水利組合行員
齋藤　政善（栃　木）青森縣耕地課囑託
坂下永次郎（三　重）農林省農務局耕地課雇
島上　正三（福　岡）福岡縣耕地課技手

卒業生

新谷八太郎（福　岡）福岡縣耕地課技手
杉森　次郎（三　重）沖繩縣耕地課囑託
鈴木　正（靜　岡）臺灣臺南州立嘉義農林學校囑託
瀬古　孝一（三　重）三重縣耕地課技手
高橋　數雄（香　川）自營
谷口　末雄（三　重）朝鮮京城成業社々員
田端　清男（三　重）宮崎縣耕地課技手
辻　好基（三　重）京都府農林蠶絲課耕地係技手
外山　義治（三　重）朝鮮全羅北道農務課雇
長谷川義意（福　島）三重縣耕地課技手
廣谷　昇（大　阪）石川縣耕地課囑託

林學科第一回

▲大正十四年三月卒業
（舊小西）
堀　百太郎（奈　良）高知縣立農學校教諭

藤原庄一郎（靜　岡）群馬縣耕地課囑託
船橋　章次（愛　知）名古屋市東區鍋屋上野土地區劃整理組合囑託
古川　俊良（滋　賀）福井縣耕地課技手
牧　勇（大　分）大分縣耕地課囑託
増井　正（三　重）新潟縣耕地課技手
松岡　英夫（和歌山）奈良縣耕地課技手
森島　美雪（岐　阜）佐賀縣耕地課技手
八尋　秀一（福　岡）朝鮮總督府農林局水利課囑託
山内　務（三　重）三重高等農林學校助手
山下　茂（福　岡）長崎縣耕地課囑託
吉田　文治（福　岡）農林省農務局耕地課雇

二十三名

小林　義秀（山　梨）内務省衛生局保健課國立公園係
古屋　武夫（群　馬）愛媛縣農林課技手

佐賀五代吉（秋　田）帝室林野局盛岡出張所技手
佐治　文哉（福　井）（死亡）
佐藤　佐壽（愛　媛）岡山縣立勝間田農林學校教諭
四方　公平（京　都）自營
（舊新保）
田島　義二（石　川）山梨縣山林技手
島林　理英（滋　賀）三重縣林務課技手
關　正三（栃　木）帝室林野局三殿出張所技手
高津戸益美（栃　木）農林省山林局林務課技手
高山　林（兵　庫）朝鮮總督府農林局林政課技手
田村幸次郎（京　都）岐阜縣立加茂農林學校教諭

林學科第二回

▲大正十五年三月卒業
穴吹規矩士（香　川）朝鮮總督府林業試驗場技手
井出　稅（靜　岡）熊本縣農林課技手

卒業生

畑　石治（福　岡）自營
林　鎭雄（東　京）島根縣立益田農林學校教諭
早藤　昌二（茨　城）東京營林局大子營林署技手
伴　一雄（三　重）自營
（舊古谷）
高田　俊雄（東　京）東京營林局福島營林署技手
鈎　俊一（滋　賀）福島縣立會津農林學校教諭
松井英太郎（大　阪）北海道函館營林區署技手
松岡　英二（福　岡）自營
三崎　龍二（三　重）埼玉縣林務課技手
山口二三生（三　重）自營

三十三名

岩本　二郎（島　根）朝鮮惠山鎭營林署技手
石川　利治（東　京）秋田營林局計畫課技手
岡田　廣一（德　島）自營

卒業生

岡野　行雄（和歌山）北海道廳拓殖部林務課技手
鷲澗　滿雄（長　崎）農林省山林局林務課技手
川越　進（宮　崎）東京府農林課技手
神庭　英（島　根）長野縣木曾山林學校教諭
木下　義統（鳥　取）自營
木曾　龍雄（廣　島）農林省山林局林務課技手
佐々木確治（秋　田）秋田營林局山形營林署技手
曾根　正孝（富　山）富山縣林務課技手
武田　要（德　島）德島縣農林課技手
辰巳　俊吉（奈　良）大阪府農務課技手
附田　文治（青　森）自營
內藤　久一（京　都）京都府農林蠶糸課技手
長尾　正和（高　知）朝鮮咸鏡南道產業課技手
藪內（舊中村）當一（香　川）德島縣立農業學校教諭
中山　利郎（三　重）樺太廳技手（本斗林務署業務係長）

▲大正十五年五月卒業

久富　運吉（山　口）山口縣林務課技手
林　茂（福　井）農林省山林局林務課技手
原　金一（岐　阜）秋田營林局利用課技手
深澤　正男（山　梨）山梨縣山林課技手
福田　港（熊　本）島根縣立川本農蠶學校教諭
逸見　雪夫（岡　山）東京營林局技手
本田　親人（宮　崎）朝鮮總督府農林局林業課技手
松田　愚（山　口）大阪營林局利用課技手
松本　幸男（愛　媛）（死亡）
柳井　元一（岡　山）山口縣林務課技手
矢野　登（香　川）愛知縣林務課技手
山本　二雄（奈　良）（死亡）
吉本今太郎（靜　岡）山梨縣立峽北農學校教諭

▲昭和二年三月卒業

安達　瀧雄（石　川）三重縣林務課技手
（舊伊藤）西原　照光（愛　媛）北海道廳地方林課技手
（舊岩山）相澤　宇內（宮　城）秋田營林局大曲營林署技手
梅原　文夫（大　分）自營
（舊越智）十河　一吉（愛　媛）兵庫縣農務課林務係技手
鬼武　幹亮（山　口）山口縣林務課技手
垣野太圭次郎（三重）岡山縣山林課技手
加藤　嘉藏（奈　良）朝鮮慶尙北道山林課技手
齋藤　市三（三　重）自營
砂走　正義（鹿兒島）岡山縣山林課技手
田中　巖（京　都）帝室林野局盛岡出張所技手
田部　繁昌（東　京）農林省山林局林務課技手

卒業生

中澤　和雄（和歌山）和歌山縣林務課技手
中谷喜久二郎（石川）大阪營林局山崎營林署技手
濱田　一夫（高　知）自營
松原　松男（長　野）三重縣立農林學校教諭
（舊萬澤）中村　秀男（三　重）高知營林局利用課技手
溝口　悌次（長　野）自營
森岡　潤吉（高　知）秋田縣林務課技手
森倉　巽淑（三　重）和歌山縣林務課技手
山川浩太郎（三　重）靜岡縣立引佐農學校教諭
湯淺　巖雄（香　川）兵庫縣農務課技手

▲昭和二年四月卒業

大里　喜重（大　阪）京都市役所

卒業生

草田　得三（和歌山）自營

林學科第四回

三十一名

▲昭和三年三月卒業

一谷口　貢（福　井）樺太廳農林部林業課技手
後藤　旭（愛　知）愛媛縣林務課技手
飯田　忠一（奈　良）奈良縣勸業課林務係技手
三枝　壽雄（兵　庫）自營
井上　源憲（廣　島）廣島縣山林課技手
佐藤　三郎（秋　田）大阪營林局利用課技手
井ノ口三郎（三　重）佐賀縣東松浦郡七山村林業技手
（舊鹽川）
笹栗　三二（福　岡）福岡貝鳴鑛業株式會社々員
臼井　茂（山　形）東京營林局福島營林署雇
白勢　修（新　潟）朝鮮咸鏡北道產業課技手
大久保昌之（石　川）朝鮮全羅北道技手（金泉山防出張所長）
高橋　渡（高　知）高知縣林業課技手
川滿　憲元（沖　繩）沖繩縣農林課技手
田代　純（兵　庫）京都府立京都農林學校教諭
片山　佐又（香　川）大阪營林局富山營林署技手
立川　全夫（靜　岡）北海道釧路營林區署技手
國田　廣實（愛　媛）愛媛縣林務課
因　秀成（福　岡）樺太廳農林部林業課技手
黑井　良勝（東　京）朝鮮平安北道厚昌營林署技手
中川　重男（京　都）京都府農林蠶絲課
小久保　壽（愛　知）青森營林局造林課技手
（舊馬場）
山田　瑞穗（福　岡）臺灣高雄州旗山郡技手
小瀨　武夫（福　島）秋田營林局計畫課囑託
松島　盛大（三　重）帝室林野局空知出張所技手

和田忠之亮（三　重）自營

林學科第五回

二十三名

▲昭和三年五月卒業

黑岩　實（佐　賀）朝鮮忠淸南道保寧郡廳技手
後藤　鋼（愛　知）神奈川縣立吉田島農林學校教諭
（舊三淺）
牛田　雲平（三　重）三重縣林務課技手
滿谷　五三（岡　山）香川縣耕地山林課技手
村上　章（愛　知）靜岡縣林務課
森田　宿禰（長　崎）北海道室蘭營林區署技手
山本市兵衛（奈　良）神宮司廳林苑課技手
鈴木　平治（福　島）北海道野付牛營林區署技手
鈴木　愷（愛　知）（死亡）
田村　義雄（三　重）三重縣林務課囑託
坪坂　博（大　分）北海道函館營林區署技手
中島海老藏（京　都）東京營林局計畫課囑託
中谷　邦武（岐　阜）秋田縣林務課技手
中村　久（三　重）秋田營林局利用課囑託
（舊大石）
增田　勝治（靜　岡）樺太廳農林部林業課技手
大辻　利勝（奈　良）（死亡）
小木曾善三郎（愛知）兵庫縣農務課技手
川口　了（三　重）三重縣林務課技手
川手　治郎（廣　島）廣島縣山林課技手
小池　敏夫（島　根）島根縣山林課技手

卒業生

卒業生

西井伊兵衛（三　重）兵庫縣宍粟郡三川村瑠璃寺林業係技術員
野本　傳（福　岡）滋賀縣森林課技手
服部　正直（三　重）東京營林局高崎營林署囑託
平野　利一（和歌山）青森營林局岩泉營林署囑託

林學科第六回

▲昭和五年三月卒業

阿部　駒一（三　重）秋田營林局大館營林署囑託
石井　英男（和歌山）自營
伊藤彌右衛門（愛　媛）愛媛縣周桑郡庄内村山林技手
上原　正敏（長　崎）福島縣山林課技手
少穴　信一（長　野）自營
桶野　眞助（長　野）大阪營林局道林課囑託
片岡　七夫（三　重）北海道上磯部木古内村村總合資會社々員
金田　友熹（福　島）帝室林野局王瀧出張所技手
深谷　亮治（岐　阜）青森營林局川内營林署囑託
福島　昇（福　井）京都府農林蠶絲課技手
普光江左右吉（高　知）岩手縣立水澤農學校教諭
森　三郎（佐　賀）大阪營林局利用課囑託

三十七名

願興寺竹男（三　重）高知營林局大栃營林署囑託
北川　孝三（三　重）京都府農林蠶絲課技手
木津　進（新　潟）東京營林局六日町營林署囑託
木根　陽三（和歌山）三重縣林務課囑託
倉田喜太郎（三　重）三重縣土木課囑託
近藤　勇（三　重）三重縣林務課囑託
杉浦　文夫（愛　知）名古屋市土木課技手
杉本榮之丞（三　重）高知縣林業課技手
杉森　一郎（三　重）福島縣山林課技手

高野　光衛（長　野）長野縣林務課技手
伊達　覺一（廣　島）北海道網走營林區署技手
中村　繁一（香　川）青森營林局利用課囑託
中村　丈夫（兵　庫）山口縣林務課囑託
中村　道孝（宮　崎）愛知縣林務課囑託
西垣　二郎（新　潟）新潟縣林務課技手
西川　正信（愛　媛）北海道渚別營林區署技手
野中　淳治（三　重）秋田營林局生保内營林署囑託
橋詰　敏夫（高　知）高知營林局窪川營林署囑託
長谷川　了（三　重）三重縣林務課技手
逸見　芳夫（神奈川）岩手縣立花卷農學校教諭

林學科第七回

三十一名

梅田　德藏（三　重）三重縣林務課囑託
岡　磯吉（和歌山）島根縣立松江農林學校教諭
前川　勝巳（三　重）山形縣林務課技手
松山　幹之（滋　賀）内務省松本水害砂防事務所囑託
百田林太郎（三　重）三重縣林務課囑託
梁田增次郎（秋　田）岐阜縣山林課技手
村山　金重（福　岡）三重縣林務課技手
山本　安秋（香　川）奈良縣勸業課技手
横山　義雄（福　島）佐賀縣農務課技手
吉村　寬逸（佐　賀）三重縣林務課技手

▲昭和五年五月卒業

平島　直材（宮　崎）鳥取縣林務課技手

三十一名

▲昭和六年三月卒業

今津新太郎（岐　阜）靜岡縣山林課技手

卒業生

岡野三十四（三　重）朝鮮咸鏡北道
吉州農業實踐學校教諭
岡森清治郎（三　重）秋田營林局利用課囑託
大塚　一太（熊　本）熊本縣林務課技手
大西　二郎（高　知）高知縣林業課技手
大野　靜（愛　媛）京都府立龜岡農學校教諭
尾崎　芳一（三　重）福井縣立福井農林學校教諭
加藤　清（三　重）三重縣林務課囑託
小紫　清平（兵　庫）上地海運合資會社大阪出張所
小林　米藏（三　重）青森營林局土木課囑託
酒井　源一（愛　媛）帝室林野局甲府出張所技手
佐々木清吉（岩　手）熊本營林局森營林署囑託
田上　一生（三　重）岐阜縣山林課技手
田中　孝雄（佐　賀）愛知縣林務課技手
田中　俊次（三　重）（死亡）
近澤　武生（三　重）石川縣農林課技手

栢植　隆一（三　重）三重縣林務課囑託
長澤　一雄（山　口）自營
永田　重道（三　重）京都府農林蠶絲課囑託
八藤　松男（岡　山）三重高等農林學校助手
廣部　誠自（三　重）朝鮮咸鏡南道北青郡農產業課技手
福田　利雄（岡　山）大阪營林局計畫課囑託
藤田　修一（岡　山）朝鮮全羅南道產業課技手
本多　泰（愛　知）朝鮮總督府農林局林政課技手
松本　政一（三　重）三重縣林務課囑託
宮田　俊雄（三　重）石川縣土木課
吉田　泰治（新　潟）自營
若林　二郎（岡　山）北海道廳地方林課技手

▲昭和六年七月卒業
勝部　忠治（島　根）島根縣技手（木炭檢查所掛合出張所長）

▲昭和七年三月卒業
赤尾國三郎（岐　阜）京都帝國大學農學部學生
秋根　昌勝（福　岡）和歌山縣林務課技手
池知　一水（高　知）大阪營林局高野營林署囑託
石黒　祐三（富　山）富山縣林務課技手
岩本　勝美（鹿兒島）佐賀縣農務課技手
上平　達雄（奈　良）入營
榎本　孝夫（和歌山）自營
（舊尾島）
藤城　憲清（富　山）入營
清末　文雄（大　分）岐阜縣山林課囑託
桐山　寬治（東　京）三重縣林務課囑託
駒田　守（三　重）共榮土地林業部廣島出張所技術員
佐久間利秋（三　重）三重縣林務課囑託

笹森　榮一（鹿兒島）入營
鹽入　利雄（長　野）三重縣林務課囑託
（舊上甲）
土居　久雄（愛　媛）朝鮮咸鏡北道廳產業課技手
杉山　今吉（愛　知）（死亡）
砂原　英治（鳥　取）入營
竹口　昇（三　重）山梨縣立農林學校教諭
富永　清次（佐　賀）入營
中井　吉人（三　重）大分縣林務課囑託
野田　忠士（三　重）三重縣林務課囑託
深田安次郎（富　山）石川縣農林課技手
藤本　芳郎（三　重）帝室林野局野逸地出張所技手補
細野　三郎（滋　賀）入營
松浦　進（宮　崎）宮崎縣林務課技手

卒業生

宮石　乂男（愛　知）農林省山林局林務課囑託
村田　義一（三　重）三重縣林務課囑託
森　　孝（三　重）三重縣林務課技手
柳瀨　友正（愛　媛）愛媛縣林務課技手
矢仁田恒義（熊　本）熊本縣農林課技手
矢野喜久男（福　岡）朝鮮慶尙南道蔚山郡廳技手
矢野　次雄（廣　島）廣島縣山林課囑託
矢野　譽榮（兵　庫）山梨縣山林課技手

林學科第九回

二十九名

▲昭和八年三月卒業

石原　博（富　山）樺太敷香營林署森林主事
石原　幹雄（熊　本）自營
伊東　誠衛（三　重）自營
上杉順二郎（三　重）朝鮮咸鏡南道產業課林務係囑託
岡田　春博（高　知）自營
小澤　貢（佐　賀）三重縣林務課囑託
川本　達四（廣　島）自營
工藤　鱗治（宮　崎）三重縣林務課雇
倉田三千穗（長　野）朝鮮江原道產業課囑託
山本　仁郎（新　潟）朝鮮慶尙北道乃城砂防事業區技手
山脇　茂（京　都）樺太廳農林部林業課技手

▲昭和七年四月卒業

宇津　英一（島　根）島根縣山林課技手

▲昭和七年五月卒業

佐藤　廉吉（山　形）滿洲國哈爾賓牡丹江木材公司技術員

齋藤　澄雄（山　形）青森營林局利用課囑託
須川清一郎（三　重）東洋拓殖株式會社朝鮮支社林務課技手
高橋　健男（大　阪）農林省山林局林務課囑託
田川　武一（三　重）愛知縣土木部河港課囑託
武田　龍夫（三　重）和歌山縣立熊野林業學校教諭
淡輪　銳一（福　岡）朝鮮慶尙南道產業課囑託
戶田　唯美（廣　島）自營
飛岡善三郎（大　阪）自營
中川　繁夫（廣　島）吳海軍工廠建築部土木課雇
中村熊太郎（三　重）新潟縣林務課囑託

農學科選科

▲大正十五年三月修了

別處　初幸（愛　媛）東京府商工課主事補
野村　安衛（岐　阜）自營

卒業生

西川　光夫（長　崎）朝鮮江原道產業課囑託
西村　敏雄（京　都）三重高等農林學校助手
根本庄三郎（茨　城）大阪營林局莊川營林署囑託
髭右近英夫（石　川）神宮司廳林苑課囑託
本鄕　卓爾（岡　山）帝室林野局名寄出張所技手補
松尾　武治（福　岡）高知營林局須崎營林署囑託
八代　雄藏（山　梨）愛知縣林務課囑託
山崎　孝雄（高　知）岩手縣山林課技手
山本　熊男（和歌山）秋田營林局利用課囑託
吉開　幸夫（福　岡）福岡縣林務課囑託

▲昭和二年三月修了

今井　武（三　重）自營

卒業生

▲昭和二年四月修了
花谷　郁（三　重）自營

▲昭和四年三月修了
平井　宏（大　阪）自營

農業土木學科選科

▲大正十四年三月修了
山本三千三（三　重）德島縣農林課耕地係技手

▲大正十五年三月修了
石田　巖（三　重）岡山縣耕地課技手

林學科選科

▲大正十五年三月修了
日野　雅亮（長　野）自營

▲昭和七年三月修了
塚田　英夫（千　葉）自營

▲昭和八年三月修了
齋藤小吉郎（三　重）三重縣一身田町役場
瀧山　嚴（大　阪）自營

▲昭和六年三月修了
王　家麟（中　華）自營

▲昭和八年四月修了
加藤　積（山　梨）自營

▲昭和五年三月修了
小林　英生（三　重）三重縣林務課技手

二、卒業者年度別數

學科 / 年次	本科 農學科	本科 農業土木學科	本科 林學科	選科	合計
大正十四年	二八	二八	二三	一	八〇
大正十五年	三五	二八	三三	四	一〇〇
昭和二年	二九	三六	二五	二	九二
昭和三年	二七	三二	三一		九〇
昭和四年	三二	三一	二三	一	八七
昭和五年	三九	三六	三七	一	一一三
昭和六年	三九	三六	三一	一	一〇七
昭和七年	三九	四〇	三七	一	一一七
昭和八年	三五	三九	二九	三	一〇六
合計	三〇三	三〇六	二六九	一四	八九二

三、卒業後ノ狀況

種別＼學科	本科 農學科	本科 農業土木學科	本科 林學科	選科	計
官公署技術員	一一八	二一六	二〇二	五	五四一
各種試驗場技術員	四五	一	五		五一
實業學校教員	五九	三三	二五		一一七
其他ノ中等學校教員	三六	九			四五
銀行會社員	一五	二〇	七		四二
自營者	一七	三	一四	九	四三
大學々生	七	一	一		九
兵役關係者	二	九	六		一七
其ノ他	二		二		四
死亡	二	一四	七		二三
合計	三〇三	三〇六	二六九	一四	八九二

四、卒業者地方分布ノ狀況

學科＼地方	本科 農學科	本科 農業土木學科	本科 林學科	選科	計
北海道	四	六	一四		二四
青森	三	二	七		一二
岩手	二	四	七		一三
宮城	五	四			九
秋田	二	六	一一		一九
山形	二	三	二		七
福島		五	五		一〇
茨城	五	二	一		八
栃木	二	四			六
群馬	二	四	二		八
埼玉	二	五	一		八
千葉	五	五		一	一一
東京	一八	一〇	七	一	三六
神奈川	二	五	一		八
新潟	二	五	四		一一
富山	二	五	三		一〇
石川	六	二	五		一三
福井	一	三	一		五
山梨	四	二	六	一	一三
長野	四	五	七	一	一七
岐阜	二	六	五	一	一四
静岡	六	七	三		一六
愛知	二〇	九	六		三五
三重	四二	二五	三四	四	一〇五

滋賀	九	八	一			
京都	一八	一〇	一三			
大阪	一五	一二	八	一	一	三六
兵庫	一三	八	七	一	二九	
奈良	八	三	二		一三	
和歌山	五	一	八		一四	
鳥取	一	二	二		五	
島根	一	二	六		九	
岡山	九	三	四	一	一七	
廣島	四	四	七	一五		
山口	一	三	四		八	
德島	三	二	三	一	九	
香川	一	五	一		七	
愛媛	三	三	五		一一	
高知	五	四	一〇		一九	

福岡	一四	一〇	六		三〇
佐賀	一	四	四		九
長崎	二	三			五
熊本	四	九	三		一六
大分	二	四	三		九
宮崎	四	一	二		七
鹿兒島	一	五			六
沖繩	一	五	一		七
朝鮮	二〇	三五	二二		七七
樺太		二	六		八
臺灣	五	七	一		一三
關東州	三				三
滿洲國	一	三	一	一	六
其ノ他諸外國	四				四
總計	三〇一	二九二	二六二	一四	八六九

第九 敷地建物

（昭和八年十二月一日現在）

敷地

所要別	坪數	所在地
校舍敷地	一五、七四一坪	三重縣河藝郡栗眞村
實驗農場	四七、八二九	三重縣津市上濱町
實習林	四、二五三	三重縣河藝郡栗眞村
合計	一、四四一、四一一	三重縣一志郡八幡村

建物

種別	構造	棟數	坪數（延坪）
本館	木造二階建	一	七七八坪
講堂	木造平家建	一	一二九
御眞影奉安殿	鐵筋コンクリート平家建	一	一、七八

敷地建物

實驗室	木造平家建	四	六三五	
農業工學實驗室	同	一	八五	
特別研究室	木造二階建	一	九〇	
藥品庫	煉瓦造平家建	一	一〇、五八六	
有毒瓦斯處理室	鐵筋コンクリート平家建	一	五	
瓦斯發生室	木造平家建	一	四	
電池室	同	一	三	
養蠶室	木造二階建	三	一八四、四	
乾繭室	木造平家建	一	八	
蠶種貯藏庫	鐵筋コンクリト平家建	一	九	
温室及同機關室	鐵骨及鐵筋コンクリート硝子張平家建	二	四四	
熱帶植物温室及同機關室	同	二	四七、二五	
硝子室	煉瓦造硝子張平家建	一	八	
固定温床	同	一	一四	
土壤作業室	木造平家建	一	三〇	

圖書館	木造二階建（一部平家建）	一	九〇	
書庫	鐵筋コンクリート二階建	一	四八	
倉庫	煉瓦造二階建	二	一〇五	
武道場	木造平家建	一	五六	
弓道場	同	一	一〇八	
學生控所	同	二	二一	
更衣室	同	一	三二	
銃器室	同	一	三二	
寄宿舍及附屬建物	木造二階建（一部平家建）	一二	四六五、三七三	
小使室、物置及便所、渡廊下等	木造平家建	二四	二六九、九七七	
農場管理室及實驗室	同	一	九五	
作業室及收納室	同	一	九五	
穀物庫	同	一	三五	
農業機械室	同	一	一〇〇	
農產製造室	同	一	五〇	

林産製造室	同	一	三五
酪農室	同	一	二〇
飼料室	同	一	三六
牛舎	同	一	四一、二五
馬舎	同	一	三五、七五
堆肥及水肥舎	同	二	七五
羊舎	同	一	一〇
鶏舎	同	一	二七
豚舎	同	一	一八、七五
燻煙室	鉄筋コンクリート平家建	一	二
樹苗消毒室	同	一	二
作物栽培實驗室	木造硝子張平家建	一	二一
農場員詰所及便所	木造平家建	三	二四
モーター室	鉄筋コンクリート及木造平家建	二	三、五
演習林寄宿舎、同附屬建物	木造二階建及平家建	六	二一〇、三七五

官舎	木造二階建及平家建	四	一〇七
官舎物置	木造平家建	四	一七
合計		一〇七	四、三七三、九九一

附錄

三重高等農林學校校友會規則

第一條　本會ハ會員相互ノ親睦ヲ厚クシ智德ヲ磨キ心身ヲ練リ本校ノ校風ヲ發揮スルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ三重高等農林學校校友會ト稱ス

第三條　本會ノ事務所ハ之ヲ三重高等農林學校内ニ設ク

第四條　本會ノ會員ハ左ノ四種トス

一、通常會員　本校在學生

二、特別會員　本校卒業生、本校修業生

三、贊助會員　本校職員及本校緣故者

四、名譽會員　特ニ本會ニ功勞アル人ニシテ會長ノ推薦ニ係ル者

第五條　本會ノ目的ヲ達セン爲左ノ十一部ヲ置ク

學藝部

劍道部
柔道部
弓道部
野球部
庭球部
水泳部
競技部
蹴球部
山岳部
庶務部

前項中學藝部ハ講演會、談話會、會誌編纂及音樂會等ニ關スル事項ヲ、山岳部ハ登山及「スキー」ニ關スル事項ヲ、庶務部ハ庶務及會計ニ關スル事項ヲ掌ル

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一名

副會長　一名
部長　各部一名
評議員　若干名
委員　各部若干名

必要ニ應シ各部ニ副部長ヲ置クコトヲ得

會長ハ本校校長ヲ推戴ス

副會長、部長、副部長、評議員ハ贊助會員中ニ就キ會長之ヲ選任ス

委員ハ通常會員中ヨリ互選ニ依リ候補者ヲ定メ會長之ヲ命ス

第七條　役員ノ職務ハ左ノ如シ

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

部長ハ會長ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部ノ事務ヲ掌理ス副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

評議員ハ役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與ス

委員ハ部長ノ指揮ニ從ヒ其ノ部ノ事務ニ從事ス

委員中役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與スルモノハ各部三名トス

第八條　會長必要アリト認ムルトキハ庶務部ニ屬スル事務ヲ本校職員ニ囑託スルコトヲ得

第九條　副會長以下役員ノ任期ハ一箇年トシ每年二月之ヲ選任ス但シ缺員ヲ生シタルトキハ隨時之ヲ選任スルコトアルヘシ此ノ場合ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス

第十條　左ノ事項ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

一、規則及細則ノ制定改廢ニ關スル事項

二、豫算及決算ニ關スル事項

三、運動會ニ關スル事項

四、其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項

第十一條　役員會ハ會長之ヲ招集ス

第十二條　役員會ハ總役員ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條　役員會ノ議事ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ贊成ヲ得テ之ヲ決ス

第十四條　本會ノ經費ハ會費、寄附金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

一、通常會員ハ入會ノ際入會金トシテ金四圓ヲ納ムルモノトス

二、通常會員ハ會費トシテ每學期金四圓ヲ本校授業料納付期ニ於テ納ムルモノトス

三、特別會員ニシテ本會刊行物ノ配付ヲ受ケントスル者ハ年額會費トシテ每年度始ヨリ六月迄ニ金貳圓若ハ終身會費トシテ一時ニ金貳拾圓ヲ前納スルモノトス但シ終身會費ハ四箇年以內ニ分納スルコトヲ得

四、在校贊助會員ハ每月月俸額ノ千分ノ五ヲ出金スルモノトス

一旦納付シタル會費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

第十五條　本會ノ會計年度ハ每年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第十六條　本會ノ歲入歲出ノ決算ハ次年度ノ始ニ於テ之ヲ報告ス

第十七條　會員ニシテ不都合ノ行爲アリタリト認ムル者ハ役員會ノ議決ニ依リ除名スルコトアルヘシ

附錄

附　錄

第十八條　本會ニ基本金ヲ置ク基本金ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條　本則施行ニ關スル細則ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム但シ各部ニ關スル細則ハ會長ノ認可ヲ受ケ部長之ヲ定ムルコトヲ得

附　則

一、第十四條第一項第三號ノ改正ハ昭和六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

二、第五條ノ改正ハ昭和七年二月二十日ヨリ之ヲ施行シ第十四條第一項第一號及第二號ノ改正ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

三重高等農林學校校友會基本金規則

本會規則第十八條ニ依リ基本金ニ關スル規則左ノ通之ヲ定ム

第一條　基本金ハ左記各號ノ一ニ當ルモノヲ以テ之ニ充ツ

一、每年度歲入歲出決算剩餘金

一、終身會費但シ每回納入ノ五分ノ四ノ金額

一、基本金ヨリ生スル利子

一、寄附金　但シ費途ヲ指定シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條　基本金ハ左ノ場合ノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス

一、通常會計ニ著シク不足ヲ生シタル場合

二、本會ノ重大緊要ナル臨時ノ事業ニシテ其ノ年度經常費ヲ以テ施行シ得サル場合

前項第一號ノ場合ハ役員會ノ議決ヲ經テ其ノ年度ノ利子ノ一部又ハ全部ヲ支出スルコトヲ得但シ基本金額壹萬圓ニ達シタル後ニ限ル前項第二號ノ場合ハ役員會ノ議決ヲ經テ元金ノ一部ヲ支出スルコトヲ得

第三條　基本金ハ之ヲ郵便貯金又ハ確實ナル銀行預金若ハ有價證券トシテ會長之ヲ保管スルモノトス

附　則

第四條　本規則ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス